

八尾市水道事業中期経営計画の令和2年度チェック&アクト

分類 番号	説明	目標	取組 事項	対策	めざす姿 (令和2年度末に 実現したい姿)	平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和2年度			
						評価	実績・状況		ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況		ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況		ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況		ふりかえり講評 (原因分析)
							【平成28年12月末現在】				【平成29年12月末現在】				【平成30年12月末現在】				【令和元年12月末現在】		
01-01-01	水安全計画とは、安全な水の供給を確実にするための計画です。この計画について策定を行い、運用していきます。	水質管理体制を構築している	水安全計画の策定	水安全計画を策定・運用する	水安全計画が策定され、適正な管理及び運用が行われていること	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	水安全計画は平成28年度中に策定できる見込みであり、平成29年3月議会で協議会報告する予定です。	水安全計画は策定できる見込みだが、それに関連する各種マニュアルの整備を進める必要がある。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	平成28年度に水安全計画を策定し、本年度は水安全計画を検証し、必要に応じて修正作業を実施する。	今後、定期的に検証・修正作業を実施していく。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	水安全計画については、毎年検証・修正作業を実施していくこととしており、本年度については2月に実施する。	今後、定期的に検証・修正作業を実施していく。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	水安全計画については、毎年検証・修正作業を実施していくこととしており、12月に検証を行った。必要に応じて修正を実施する。	引き続き、定期的に検証・修正作業を実施していく。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	水安全計画については、毎年検証・修正作業を実施していくこととしており、修正を実施する内容はなかった。	引き続き、定期的に検証・修正作業を実施していく。	
02-02-02	水道水の水質基準は水道法により規定されており、日々、市内に供給している水の安全性を確認しています。	水質の信頼性を確保している	水道品質の確保	信頼性の高い水質検査を継続する	常に水質基準を満たしていること	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	平成28年度で水質基準を満たさない事例はなかった。	アクションは計画どおりに進行しており、次年度以降も当初計画どおり実施していく。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	平成29年度で水質基準を満たさない事例はなかった。	アクションは計画どおりに進行しており、次年度以降も当初計画どおり実施していく。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	平成30年12月末現在で水質基準を満たさない事例はなかった。	アクションは計画どおりに進行しており、次年度以降も当初計画どおり実施していく。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	令和元年12月末現在で水質基準を満たさない事例はなかった。	アクションは計画どおりに進行しており、次年度以降も当初計画どおり実施していく。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	令和2年度末現在で水質基準を満たさない事例はなかった。	アクションは計画どおりに進行している。引き続き水質基準が満たされている状態を保っていく。	
02-02-03	水道管は、内壁のさびや内壁皮膜材のはく離等が原因となり濁りが発生する場合がありますので、濁り発生が疑われる箇所を精査し、定期的に管の洗浄を実施します。	水質の信頼性を確保している	水道品質の確保	水道管内壁さびの剥離等による濁りを防止する	工事や事故以外の水濁り事象が抑制されていること	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおりに対策が実施されなかった部分がある	水濁りが発生した件数 平成25年12月時点：14件 平成26年12月時点：26件 平成27年12月時点：36件 平成28年12月時点：26件 平成25年～平成27年の平均値：25.3件 直近3ヶ年実績を上回っている状況。 水濁り発生が疑われる箇所の洗浄を実施した。	水濁り発生箇所については定期的に管の洗浄を実施してきたが、予測していなかった地域の水濁り等が発生したため、例年を上回ったと考えられる。今後、水濁りの発生が予測される箇所を更に検討・精査し定期洗浄を行っていく。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	水濁りが発生した件数 平成26年度12月時点：26件 平成27年度12月時点：36件 平成28年度12月時点：26件 平成29年度12月時点：7件 平成26年～平成28年の平均値：29.3件 直近3ヶ年を下回っている状況。 水濁りの発生が疑われる箇所の洗浄を実施した。	水濁りの発生が予想される箇所について、定期的に管の洗浄を実施してきた結果、例年を下回ったと考えられる。今後も、水濁りが予想される箇所を検討・精査し定期洗浄を行っていく。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	水濁りが発生した件数 平成27年度12月時点：36件 平成28年度12月時点：26件 平成29年度12月時点：7件 平成30年度12月時点：20件 平成27年～平成29年の平均値：23件 直近3ヶ年を下回っている状況。 水濁りの発生が疑われる箇所の洗浄を実施した。	水濁りの発生が予想される箇所について、定期的に管の洗浄を実施してきた結果、例年を下回ったと考えられる。今後も、水濁りが予想される箇所を検討・精査し定期洗浄を行っていく。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	水濁りが発生した件数 平成28年度12月時点：26件 平成29年度12月時点：7件 平成30年度12月時点：4件 令和元年度12月時点：21件 平成28年～平成30年の平均値：18件 通報以外にも布設替工事等で発見された濁りが発生する可能性が高い区域の洗浄を実施した。	濁りの件数を更に減らせるように、今後も水濁りが予想される箇所においては定期的に洗浄を実施していく。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	水濁りが発生した件数 平成29年度12月時点：7件 平成30年度12月時点：20件 令和元年度12月時点：4件 令和2年度12月時点：21件 平成29年～令和元年の平均値：10件 通報以外にも布設替工事等で発見された濁りが発生しがちな区域の洗浄を実施した。	濁りの件数を更に減らせるように、今後も水濁りが予想される箇所においては定期的に洗浄を実施する。	
03-02-04	高層のビルやマンション等の建物では貯水槽水道を採用している場合が多くあり、設置者又は所有者が、定期的な清掃や適正な管理を行う必要があります。	貯水槽水道の設置者に対し、適切な衛生管理を指導している	水道品質の確保	貯水槽水道の適正な管理を充実する	貯水槽水道の設置者又は所有者が適正な管理の必要性を認識し、管理を行うことにより安全な水質が保たれていること	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	八尾市健康まちづくり部健康推進課と連携して、水道法の規程に基づき、貯水槽の適正な管理の指導を行った。	引き続き、八尾市健康まちづくり部健康推進課と連携して、貯水槽の適正な管理の指導を行っていく。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	貯水槽設置予定の物件については、簡易専用水道及び小規模貯水槽水道の適正な管理のリーフレットを配布し、八尾市健康まちづくり部健康推進課へ通知する等の指導を徹底した。	引き続き、八尾市健康まちづくり部健康推進課と連携して、貯水槽の適正な管理の指導を行っていく。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	八尾市健康まちづくり部保健衛生課と連携して、水道法の規程に基づき、貯水槽の適正な管理の指導を行った。	引き続き、八尾市健康まちづくり部保健衛生課と連携して、貯水槽の適正な管理の指導を行っていく。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	貯水槽設置予定の物件について、簡易専用水道及び小規模貯水槽水道の適正な管理のリーフレットを配布する等貯水槽の適正な管理について指導を行った。	引き続き、貯水槽の適正な管理の指導を行っていく。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	貯水槽設置予定の物件について、簡易専用水道及び小規模貯水槽水道の適正な管理のリーフレットを配布する等貯水槽の適正な管理について指導を行った。	引き続き、貯水槽の適正な管理の指導を行っていく。	
04-03-05	悪質業者の問題を含めた給水装置に関するトラブルや水道法で禁止されているクロスコネクション(水道管とその他の目的の管(井戸水、工業用水、冷却水など)が直接連結されていること)等の発生防止に努めます。	給水装置の安全性および給水装置工事業者の資質を確保している	信頼性の向上	指定給水装置工事業者制度を適正に運用する	指定給水工事事業者への研修や給水装置工事の設計審査及び竣工検査を通じて、工事が適切に実施されていること	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	本年度は平成29年実施の給水装置指定工事事業者研修会の実施に向けて連絡先の確認、不達業者の精査等、合同研修会の実施に向けて東部大阪水道協議会と連携して把握に努めた。研修会が無い年度については、お客様等の情報提供に伴い指定給水装置工事事業者の調査を行っていく。給水装置施行基準については、見直しを行い公表する予定です。	平成28年度では、指定給水装置工事事業者の不達リスト等を整理し、平成29年度の指定給水装置工事事業者研修会開催に向けて送付リストを完成させた。また今後、水道法の改正により、指定給水工事事業者制度の見直しが行われ5年ごとの更新制度となる予定であることから、指定取消等の対応が明確となることも併せて、悪質業者等の排除に取り組んでいきたい。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	平成29年11月28日に、東部大阪水道協議会主催で、東部大阪9市と連携して指定給水装置工事事業者への研修会を実施した。又、給水装置工事施行基準については毎年見直しを行い公表している。	平成30年度に水道法の改正により、指定給水工事事業者制度の見直しが行われ5年ごとの更新制度となる予定であることから、指定取消等の対応が明確となることも併せて、悪質業者等の排除に取り組んでいきたい。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	本年度は令和元年実施予定の指定給水装置工事事業者の更新制度に向けて、東部大阪水道協議会と連携して更新制への手続きの確認に努めた。給水装置工事施行基準については、見直しを行う予定である。	水道法の一部を改正する法律が公布されたことにより、指定給水装置工事事業者制度の見直しが行われ、5年ごとの更新制度となる予定であることから、指定取消等の対応が明確となることから、悪質業者等の排除に取り組んでいきたい。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	東部大阪水道協議会と連携し、研修会の実施に向けた協議を進めた。指定給水装置工事事業者制度変更に伴う給水条例の改正を実施した。	関係機関等と連携し、研修を実施することで、給水工事業者の資質を確保していく。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	東部大阪水道協議会と連携し、研修会の実施に向けた協議を進めた。指定給水装置工事事業者制度変更に伴う第1回目更新手続きを適切に実施した。	関係機関等と連携し、コロナ禍での研修の実施方法を研究し、指定給水装置工事事業者の資質を確保していく。	

八尾市水道事業中期経営計画の令和2年度チェック&アクト

分類 番号	説明	目標	取組 事項	対策	めざす姿 (令和2年度末に 実現したい姿)	平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和2年度						
						評価	実績・状況		ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況		ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況		ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況		ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況	
							【平成28年12月末現在】				【平成29年12月末現在】				【平成30年12月末現在】				【令和元年12月末現在】				【令和3年3月末現在】	
05-03-06	鉛の水道水への溶出を低減するため個人の所有である鉛製給水管についても可能な限り早期での解消が望まれます。これまで進めてきた老朽管の更新や修繕工事に併せて解消する方法に加え、鉛製給水管の解消を進めるといった観点から、具体的な対策の検討も含めて考えていく必要があります。  (参考) 平成26年度 鉛製給水管残存率 18.8% 令和2年度末目標値:鉛製給水管残存率 12.3%	鉛製給水管の解消を推進している	信頼性の向上	鉛製給水管の更新を推進する	鉛製給水管残存率を水道ビジョン目標値に近づける	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおりに対策が実施されなかった部分がある	平成28年度末の鉛製給水管残存率の見込み値は17.2%となっており、目標に0.6%届いていない。	平成28年度の漏水調査業務及びメーター取替業務の中で、鉛製給水管の実態調査が行われており、調査結果を分析して今後の対応に繋げたい。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	平成29年度12月末の鉛製給水管残存率は13.4%となっている。	実態調査により、非鉛管であると判明した件数が多く、そのため、残存率が見込み値に比べ大幅な減少となった。また、本年度内に鉛製給水管の解消に向けた布設替基本計画及び実施計画の策定を終え、次年度以降は、当該計画に基づき、計画的に鉛製給水管の更新を進めていく予定としている。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	平成30年12月末現在の鉛製給水管残存率は12.9%となっている。	本年度、鉛製給水管が多く存在する配水管を重点的に整備した。	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおりに対策が実施されなかった部分がある	H29年度に策定した「鉛製給水管布設替計画」に沿って令和元年も引き続き解消に努めたが、12月末現在の鉛製給水管残存率は11.9%となっており、目標値に少し届かない見込みである。	H29年度に策定した「鉛製給水管布設替計画」に沿って令和2年度も引き続き解消に努めた。令和2年度末で鉛製給水管率10.7%となり、目標値を達成することが出来た。また、令和2年度で鉛製給水管布設替実施計画(第I期)が終了することから、今後3年間の実施計画(第II期)の策定を行った。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	平成29年度に策定した「鉛製給水管布設替計画」に沿って令和2年度も引き続き解消に努めた。令和2年度末で鉛製給水管率10.7%となり、目標値を達成することが出来た。また、令和2年度で鉛製給水管布設替実施計画(第I期)が終了することから、今後3年間の実施計画(第II期)の策定を行った。	令和2年度において、鉛製給水管が多く存在する配水管を重点的に整備し、目標値を達成することが出来た。				
06-04-07	水道施設のうち、管路以外の施設(受水・配水施設、ポンプなど)の耐震化を計画的に進めます。  (参考) 平成26年度 水道施設(ポンプ所)の耐震化率 49.8% 平成26年度 水道施設(配水池)の耐震化率 46.5% 令和2年度末目標値: ・水道施設(ポンプ所)の耐震化率 91.7% ・水道施設(配水池)の耐震化率 70.2%	水道施設の耐震化を計画的に実施している	水道施設耐震化計画の策定	施設耐震化計画を策定・運用する	水道施設のうち、管路以外の施設耐震化率を水道ビジョン目標値に近づける	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおりに対策が実施されなかった部分がある	配水池耐震化率は平成28年度末で46.5%、ポンプ所耐震化率は平成28年度末で49.8%であり、ポンプ所耐震化率については、現在施工中の高安受水場送水ポンプ棟更新工事の遅れにより、目標に届いていない。また、施設耐震化計画は、見直しについて調査・検討を行った。	高安受水場送水ポンプ棟更新工事は、当初予定より遅れているが、平成30年度末の完成をめざし、鋭意施工中である。	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおりに対策が実施されなかった部分がある	配水池耐震化率は平成29年度末で46.5%、ポンプ所耐震化率は平成29年度末で49.8%である。現在施工中の高安受水場送水ポンプ棟更新工事が当初予定より遅れているため、ポンプ所耐震化率は目標値に届いていない。	高安受水場送水ポンプ棟更新工事は、当初予定より遅れているが、平成30年度末の完成をめざし、鋭意施工中である。	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおりに対策が実施されなかった部分がある	平成30年12月末現在の配水池耐震化率は46.5%、ポンプ所耐震化率は74.9%である。現在施工中の高安受水場送水ポンプ棟更新工事は、本年度新ポンプ棟が完成し、8月より一部運用を開始している。残りの場内配管工事等は、当初予定より遅れているが、安全第一で早期の竣工に努めたい。	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおりに対策が実施されなかった部分がある	令和元年12月末現在のポンプ所耐震化率及び配水池耐震化率は昨年度と同様にそれぞれ74.9%と46.5%である。なお、令和元年度より南部低区配水池の更新耐震化についての委託業務を実施している。また、「八尾市水道事業ビジョン」の策定に伴い、「八尾市水道施設整備計画」の策定を行った。	めざす姿の実現に向けて、事業を進めているが、整備の優先順位を見直したことにより、令和2年度の目標値を達成することは困難である。	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおりに対策が実施されなかった部分がある	令和2年度末現在のポンプ所耐震化率及び配水池耐震化率は昨年度と同様にそれぞれ74.9%と46.5%である。令和2年度の目標値を達成することは困難であるが、引き続き、水道施設の更新・耐震化を計画的に実施していく。	めざす姿の実現に向けて、事業を進めているが、整備の優先順位を見直したことにより、令和2年度の目標値を達成することは困難であるが、引き続き、水道施設の更新・耐震化を計画的に実施していく。					
06-04-08	水道施設のうち、管路の耐震化を老朽管の更新にあわせて、計画的に進めます。  (参考) 平成26年度 水道管路の耐震化率 19.2% 令和2年度末目標値:水道管路の耐震化率 26.8%	水道施設の耐震化を計画的に実施している	水道施設耐震化計画の策定	管路耐震化計画を策定・運用する	管路の耐震化率を水道ビジョン目標値に近づける	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおりに対策が実施されなかった部分がある	平成28年度末の管路の耐震化率の見込み値は21.1%となっており、目標に1.5%届いていない。	平成28年度の下水道工事に伴う受託工事が想定より少なかったこと、地元調整等により発注に時間を要したことなどから、管路耐震化率は目標にとどかなかった。	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおりに対策が実施されなかった部分がある	平成29年度12月末時点での管路の耐震化率は22.2%となっており目標の23.7%に届いていない。	本年度については、予定どおり管路耐震化を進めることができたが、平成28年度の遅れをとりもどすことはできなかった。今後、早期発注に努め、令和2年度末の目標値を達成したい。	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおりに対策が実施されなかった部分がある	平成30年12月末現在の管路の耐震化率は23.5%となっており目標の24.6%に届いていない。	本年度については、予定以上に管路耐震化を進めることができたが、平成28年度の遅れをとりもどすことはできなかった。今後、早期発注に努め、令和2年度末の目標値を達成したい。	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおりに対策が実施されなかった部分がある	令和元年12月末現在の暫定値で25.0%であり、本年度の目標25.7%を達成すべく鋭意施工中である。	令和2年度末の目標値を達成するために、早期発注に努めている。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	令和2年度末で耐震化率27.0%となり、目標値である26.8%を達成した。	計画通り事業が進捗し、令和2年度末の目標値を達成した。				

八尾市水道事業中期経営計画の令和2年度チェック&アクト

分類 番号	説明	目標	取組 事項	対策	めざす姿 (令和2年度末に 実現したい姿)	平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和2年度		
						評価	実績・状況 【平成28年12月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況 【平成29年12月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況 【平成30年12月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況 【令和元年12月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況 【令和3年3月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)
07-05-09	お客さま情報や管路図面情報などを厳重かつ確実に管理するため大規模災害発生時のOAシステムダウン、サイバーテロ攻撃など、さまざまなリスクを想定し、対応できるよう努めます。	リスク管理ができています	リスクの抽出およびその抑止をはかる	起こりうるリスクの抽出およびその抑止をはかる 災害、電力供給の途絶、サーバー攻撃や機器の故障等に対する事前の備えを行い、速やかに復旧する体制を構築していること	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	【水道料金システム】 現行のシステムについては、外部ネットワークと接続しておらず、データのバックアップについても定期的に媒体にとり、適切に保管している。しかし、災害等によりサーバーが破損した場合は、代替機の手配等が困難なためシステム復旧が遅延する恐れが強い。平成29年5月稼働予定の新料金システムにおいても、外部ネットワークに接続せず、データのバックアップは適切に実施、保管する予定である。なお、新料金システムはオープン化されたシステムであり、災害等によるサーバー破損時においてもサーバーの置き換えにより早期の復旧が可能である。	【水道料金システム】 当システムが外部ネットワークと遮断された環境で運営していることから、サイバーテロ攻撃など外部からの侵入に対して適切な対応ができています。災害等によりシステムに基大な被害を受けた場合の対応についても、データのバックアップを定期的によりシステムに基大な被害を受けた場合の対応についても、サーバー破損時においてもサーバーの置き換えにより早期の復旧が可能である。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	【水道料金システム】 平成29年5月に新料金システムを導入、稼働し、システム機器の入れ替えを行った。料金システムについては外部ネットワークと非接続であるとともに、サーバーおよびクライアントパソコンにはセキュリティ対策ソフトを導入し、サイバーテロ等の対策を行っている。また、データのバックアップについても、HDD等にデータを退避、保管するなど適切に実施している。なお、システムのオープン化により、災害等によるサーバー破損時においてもサーバーの置き換えにより早期の復旧が可能である。	【水道料金システム】 当システムは外部ネットワークと遮断された環境で運営していることから、サイバーテロ攻撃など外部からの侵入に対して適切な対応ができています。災害等によりシステムに基大な被害を受けた場合の対応についても、データのバックアップを定期的によりシステムに基大な被害を受けた場合の対応についても、サーバー破損時においてもサーバーの置き換えにより早期の復旧が可能である。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	【水道料金システム】 平成29年5月に新料金システムを導入、稼働し、システム機器の入れ替えを行った。料金システムについては外部ネットワークと非接続であるとともに、サーバーおよびクライアントパソコンにはセキュリティ対策ソフトを導入し、サイバーテロ等の対策を行っている。また、データのバックアップについても、HDD等にデータを退避、保管するなど適切に実施している。なお、システムのオープン化されたシステムであり、災害等によるサーバー破損時においてもサーバーの置き換えにより早期の復旧が可能である。	【水道料金システム】 当システムは外部ネットワークと遮断された環境で運営していることから、サイバーテロ攻撃など外部からの侵入に対して適切な対応ができています。災害等によりシステムに基大な被害を受けた場合の対応についても、データのバックアップを定期的によりシステムに基大な被害を受けた場合の対応についても、サーバー破損時においてもサーバーの置き換えにより早期の復旧が可能である。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	【水道料金システム】 料金システムについては外部ネットワークと非接続であるとともに、サーバーおよびクライアントパソコンにはセキュリティ対策ソフトを導入し、サイバーテロ等の対策を行っている。また、データのバックアップについても、HDD等にデータを退避、保管するなど適切に実施している。なお、システムはオープン化されたシステムであり、災害等によるサーバー破損時においてもサーバーの置き換えにより早期の復旧が可能である。	【水道料金システム】 当システムは外部ネットワークと遮断された環境で運営していることから、サイバーテロ攻撃など外部からの侵入に対して適切な対応ができています。災害等によりシステムに基大な被害を受けた場合の対応についても、データのバックアップを定期的によりシステムに基大な被害を受けた場合の対応についても、サーバー破損時においてもサーバーの置き換えにより早期の復旧が可能である。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	【水道料金システム】 料システムについては外部ネットワークと遮断された環境で運営していることから、サイバーテロ攻撃など外部からの侵入に対して適切な対応ができています。災害等によりシステムに基大な被害を受けた場合の対応についても、データのバックアップを定期的によりシステムに基大な被害を受けた場合の対応についても、サーバー破損時においてもサーバーの置き換えにより早期の復旧が可能である。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	【水道料金システム】 当システムは外部ネットワークと遮断された環境で運営していることから、サイバーテロ攻撃など外部からの侵入に対して適切な対応ができています。災害等によりシステムに基大な被害を受けた場合の対応についても、データのバックアップを定期的によりシステムに基大な被害を受けた場合の対応についても、サーバー破損時においてもサーバーの置き換えにより早期の復旧が可能である。
08-06-10	大規模な、地震災害や漏水・断水事故から一刻も早く水道を復旧すべく、平時にマニュアルを整えておき、職員各自が理解することに努めます。	災害時・事故発生時の応急活動体制を構築している	災害時の対応	実働的な災害対策マニュアルを策定・充実する	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施されなかった部分がある	人事異動を反映した災害応急対策職員一覧表の更新を行うとともに、平成28年度においても大阪880万人訓練の際に安否確認サービスを活用した訓練を行っている。また、応急給水・上水道班マニュアルの修正については本年度中に完了する予定である。なお、民間企業との災害時連携体制の確保については西尾レントオールと災害時に給水車の無償貸与を受ける協定を締結した。	災害に対する備えは充分とすることがないため、水道局単独での参集訓練等の実施について関係課と協議のうえ検討する。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	人事異動を反映した災害応急対策職員一覧表の更新を行うとともに、平成29年度においても大阪880万人訓練の際に安否確認サービスを活用した訓練を行った。なお、平成30年1月の水道局の防災訓練時にも参集状況を確認する方向で検討している。また、水道局の危機管理マニュアルにも緊急連絡先を掲載しており、大規模地震を想定した事業継続計画(BCP)は水道局も含め全庁的に本年度中に策定する。	水道局の危機管理マニュアルの整備とともに危機管理マニュアル検証委員会で災害時を想定した訓練を行う。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	人事異動を反映した災害応急対策職員一覧表の更新を行うとともに、平成29年度においても大阪880万人訓練の際に安否確認サービスを活用した訓練を行った。なお、平成30年度は災害が多発し、被災地に職員を派遣した。	被災地に職員を派遣した経験や反省点をまも危機管理マニュアルの検証や資機材の導入に生かした。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	危機管理マニュアル検証委員会作業部会が危機管理マニュアルの見直しの検討を行うとともに、有事に必要な備品などの検討を行った。また、組み立て式給水タンクや災害用マンホールイシの設置訓練、水道局災害対策本部の設置訓練、水道管が破損した想定で断水せずに漏水を止める訓練を実施した。また、例年どおり人事異動を反映した災害応急対策職員一覧表の更新を行うとともに、令和元年度においても大阪880万人訓練の際に安否確認サービスを活用した訓練を実施した。	毎年度危機管理マニュアル検証委員会作業部会のメンバーを抽出して定期的な会議を開催することにより、年々危機対応能力が向上している。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	令和2年度4月に改訂した八尾市危機管理マニュアルに基づき訓練を行うなど、検証結果をマニュアルに反映し応急活動体制を構築した。今後も引き続き、見直しを行いながら運用し、精度を高めていく。また、災害時に欠かせない民間企業との連携について、協定等に基づき継続連携を進めるとともに、平成30年度に策定した災害時業務継続計画に基づく、災害時の受援・応援体制の強化を図った。さらに、消防署の林野火災を想定した訓練に協力し、消火用水を確保する手段としてミキサー車への給水を実施した。	危機管理マニュアル検証委員会作業部会の会合を継続的に行うことにより対応能力が向上している。	

八尾市水道事業中期経営計画の令和2年度チェック&アクト

分類 番号	説明	目標	取組 事項	対策	めざす姿 (令和2年度末に 実現したい姿)	平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和2年度		
						評価	実績・状況 【平成28年12月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況 【平成29年12月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況 【平成30年12月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況 【令和元年12月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況 【令和2年3月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)
						09-06-11	水道の復旧に向けて他の水道事業者等と円滑に協働できるよう備えます。	他の水道事業者等との連携体制を構築している	災害時の対応	他の水道事業者等との災害時の連携についてシミュレーション・訓練を強化する	合同の訓練に参加した職員が増えていること	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	大阪広域水道企業団と市町村の事業者の震災対策合同訓練に6名参加した。	平成28年度に発生した災害などの教訓により、日本水道協会による災害時の応援については東部大阪水道協議会内で事前に順番を決めるなど経験を生かした改善がなされた。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	大阪広域水道企業団と各水道事業者との震災対策合同訓練は中止となったが日本水道協会において、災害時対応訓練を実施する予定である。また、他市への応援給水活動にも参加した。	本年度は大阪広域水道企業団と各水道事業者との震災対策合同訓練は台風21号の影響で中止となったが実際の応援給水活動や日本水道協会との合同訓練で目的は達成される見込みである。	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	平成30年度は災害が多発し、大阪広域水道企業団と各水道事業者との震災対策合同訓練は実施されなかったが、給水活動のため被災地に多数の職員を派遣した。	平成30年度は災害が多発し、大阪広域水道企業団と各水道事業者との震災対策合同訓練は実施されなかったが訓練以上の経験をした職員の間で反省点や課題を抽出し共有した。
10-06-12	市内各所で断水が発生している状況下で住民への応急給水を実施する拠点を整えます。平成28年度にこれまでに設置した緊急貯水槽の機能の検証や維持管理の検討にあわせ、他の飲料水を確保する方法との比較検討をおこない、効率のよい緊急時給水拠点の整備計画を作成し、その後の整備に反映していきます。  (参考) ・現在5か所設置済(南木の本防災公園:南木の本3丁目、亀井小学校:亀井町1丁目、美園小学校:美園町2丁目、太田第一公園:太田6丁目、上之島小学校) ・平成28年度は志紀小学校、平成29年度は、八尾市水道庁舎に設置予定。	災害発生時の給水手段を確保している	災害時の対応	災害時応急給水設備を整備する	多様な方策で給水拠点が確保されていること	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施されなかった部分がある	既設の市内4か所(受水場、配水池など)の応急給水栓と5か所の耐震性緊急貯水槽に加え、新たに志紀小学校に耐震性緊急貯水槽を設置するとともに既設の設備についても維持管理を行った。	耐震性緊急貯水槽については当初予定どおり完成したが、貯水槽以外での災害時給水拠点は、なお研究、検討を要する。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	水道局敷地内において、地下式耐震性緊急貯水槽の工事を行った。また、大阪広域水道企業団のあんしん給水栓について調査を行い、平成30年1月に、1か所改良される予定である。	本年度、水道局敷地内において、地下式耐震性緊急貯水槽の工事を行った。大阪広域水道企業団のあんしん給水栓については、引き続き定期的に調査を行っていきたい。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	水道局敷地内において、昨年度の地下式(80㎡)に引き続き、本年度は地上式(30㎡)の耐震性緊急貯水槽を設置した。新庁舎の完成に伴い、8月から地上、地下合わせて110㎡の耐震性緊急貯水槽の供用を開始した。	水道局敷地内において、昨年度の地下式(80㎡)に引き続き、本年度は地上式(30㎡)の耐震性緊急貯水槽を設置し、8月から供用開始を行った。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	人がたくさん集まっても安全に応急給水することが可能な場所として、指定避難所の学校を給水拠点として活用できるよう関係機関と協議を行い、本年度中に桂中学校、大正北小学校の敷地内にベンチ型応急給水栓を設置予定である。	人がたくさん集まっても安全に応急給水することが可能な場所として、指定避難所の学校を給水拠点として活用できるよう関係機関と協議を行い、本年度中に桂中学校、高美小学校、高安小学校、南山本小学校の敷地内にベンチ型応急給水栓を設置した。「八尾市水道事業ビジョン」で応急給水設備数を市内30か所に整備することを目標に定めた。消防署の林野火災を想定した訓練に協力し、消火用水を確保する手段としてミキサー車への給水を実施した。	新たに4か所のベンチ型応急給水栓を設置したことで、応急給水設備数が17か所となった。耐震性緊急貯水槽については正常な稼働と安全な水質であること確認した。水道局危機管理訓練として、龍華配水場において応急給水訓練を実施した。		
11-06-13	膜ろ過装置は、避難場所付近のプールや河川の水を原水として、比較的に安全な飲料水を造ることができ装置です。災害時に様々な制約を受けても、飲用水や生活用水を自力で調達する手段が必要です。  (参考) 日常家庭用水の内訳はトイレが28%と最も多く、次いでお風呂が24%、炊事が23%、洗濯17%、その他8%程度です。	災害時の飲用水・生活用水確保対策を講じている	災害時の対応	川・井戸水・雨水を飲用水や生活用水として利用する	○災害時に備え水の備蓄に取り組むための啓発活動が積極的に行われていること  ○膜ろ過装置等の浄化手法が地域で導入されている数が増加していること	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施されなかった部分がある	地域での防災訓練や出前講座の際に、水の備蓄についての啓発活動を行うとともに水道モニターの会議においても熊本での地震を題材に水の備蓄について啓発を行った。膜ろ過装置は2か所所災害時協力井戸の登録数は現在50件で前年度と同数である。	膜ろ過装置については、地域での設置状況をコミュニティ推進スタッフの職員と意見交換を行い、維持管理の課題についても聴取することができたが、井戸、プールの水のろ過装置などの先行事例はホームページなどの調査にとどまっている。	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施されなかった部分がある	地域での防災訓練や出前講座の際に、水の備蓄についての啓発活動を行うとともに水道モニターの会議においても熊本での地震を題材に水の備蓄について啓発を行った。膜ろ過装置は2か所所災害時協力井戸の登録数は現在50件で前年度と同数である。	膜ろ過装置については、地域での設置状況から、使用後のメンテナンス費用等の維持管理の課題がある。あんしん給水栓の実態調査は実施したが井戸、プールの水のろ過装置などの先行事例はホームページなどの調査にとどまっており、引き続き先行事例の調査と手法の検討を行う。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	地域での防災訓練や出前講座の際に、給水袋による水の運搬や水の備蓄についての啓発活動を行うとともに水道モニターの会議においても水の備蓄について啓発を行った。膜ろ過装置は2か所所災害時協力井戸の登録数は平成30年3月31日現在51件で前年度より1件増えている。	膜ろ過装置については、地域での設置状況から、使用後のメンテナンス費用等の維持管理の課題がある。本年度は、災害時に住民が生活用水を確保するための先進事例であるピククリャグチについて堺市等に訪問調査を行い次年度以降の設置に向けて検討を行った。	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施されなかった部分がある	地域での防災訓練や出前講座の際に、給水袋による水の運搬や水の備蓄についての啓発活動を行うとともに水道モニターの会議においても水の備蓄について啓発を行った。膜ろ過装置は2か所所災害時協力井戸の登録数は平成31年3月31日現在51件で、前年度と同じであるが、本年度中に指定避難所となる桂中学校、大正北小学校敷地内にベンチ型の災害時給水栓を設置する予定である。	先進都市などの事例の調査・視察を行った結果、比較的費用も高くなく、市民も簡単に利用することができる新たな応急給水設備を設置することとなったが、膜ろ過や避難所となる学校への井戸の設置については、市長部局との調整も含めて進んでいない。	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施されなかった部分がある	飲料用水の備蓄と生活用水確保の重要性については出前講座、ホームページ、広報紙「やおの水道」、市政だより等を通じて広報した。また、井戸水、雨水の利用をはじめ、指定避難所での生活用水の確保は引き続き、調査、検討を進める。	ベンチ型応急給水栓の設置は進んだが、避難所の井戸、膜ろ過については、市長部局との連携、調整が進んでいない。

八尾市水道事業中期経営計画の令和2年度チェック&アクト

分類 番号	説明	目標	取組 事項	対策	めざす姿 (令和2年度末に 実現したい姿)	平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和2年度		
						評価	実績・状況 【平成28年12月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況 【平成29年12月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況 【平成30年12月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況 【令和元年12月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況 【令和3年3月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)
12-07-14	水道事業のアセットマネジメント(資産管理)のツールを活用することで、的確な資産管理や社会経済状況の変化に対応した将来見込みが出来るとともに、他事業体との比較などにより、経営状況の課題や問題点を把握し、健全経営に役立てられるよう取り組みます。	中長期的な視点に立ち、水道施設のライフサイクル全体にわたって効率的・効果的・体系的に資産管理運営を実践している	アセットマネジメントの実践	アセットマネジメントを実施する	継続的な実施の前提条件として、全職員にアセットマネジメントの意義・しくみを理解させる取組みがおこなわれている	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	水道局職員に対する中期経営計画の説明会を実施するとともに、厚生労働省が公表しているアセットマネジメント「簡易支援ツール」を用いて財政収支見直しに関する定期的なシミュレーションを実施した。また、シミュレーション結果を8月の管理職会議で報告し、各所属への周知を図った。	水道局職員に対する中期経営計画の説明会を実施しアセットマネジメントの必要性について一定理解は進んでいる。財政収支の見直しに関するシミュレーションも行い、情報の組織内共有も行った。	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施されなかった部分がある	中期経営計画のチェック&アクトを行い、水道局内での周知を図るとともにホームページで公表した。平成29年度は定例のシミュレーション作業から一度離れ、詳細型アセットマネジメントを実施するための基礎資料として施設台帳の整理に着手した。また、大阪府が実施したアセットマネジメントの研修会に参加するとともに東部大阪水道協議会においても意見交換会を行った。	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施されなかった部分がある	中期経営計画のチェック&アクトを行い、水道局内での周知を図るとともにホームページで公表した。平成30年度は「八尾市水道管路整備計画」の策定や「水道施設規模見直し及び更新・耐震化事業」の計画の見直し作業に取り組みを進めている。	現在、令和2年度までの水道ビジョンと経営戦略の見直しに向けて取り組んでおり、そのため水道施設の計画の見直しを優先的に進めている。また、平成30年12月に総務省が取上げた審議が進行している。アセットマネジメントのあり方に関する研究会「報告書ではアセットマネジメントの水準についてタイプ4・Dを求められている。	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施されなかった部分がある	水道事業ビジョン・経営戦略の策定業務をコンサルタント会社に委託するとともに、令和元年8月に八尾市水道事業経営審議会を設置し、令和2年度までの水道ビジョンと経営戦略の策定に向けた審議が進行している。アセットマネジメントの実施は令和2年度となる予定である。平成30年度の水道施設・管路の更新についての検討結果を踏まえて計画した、南部低区配水池のダウンサイジングと耐震化についての設計業務の補正予算が八尾市議会令和元年9月定例会において成立し、取り組みを進めている。	経営分析比較表を公表し、組織内での情報共有を行ったが、アセットマネジメント未実施のため、職員向けの説明会は実施していない。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	大阪府の市町村別経営比較分析表をホームページに掲載し、経営状況をお知らせするとともに、アセットマネジメントのシミュレーションについて組織内で情報共有を行った。	アセットマネジメントの結果による経営シミュレーションを基に経営戦略を策定した。今後は、健全経営の維持にむけた取り組みが必要となる。	
13-08-15	○市民生活に配慮しながらも、水道料金の徴収を確実に進めるよう、委託事業者と連携し、あらゆる手法を取り入れ取り組んでいきます。  ○修繕工事収益は、確実に収納できるように、相手方の所在等の把握に努めます。  (参考) 平成25年度 ・水道料金収納率 98.79%(現年度分(納期限到来日)の翌年度5月末日現在)) ・修繕収益収納率 92.35%(平成25年度決算以降5月末時点) 令和2年度目標値 ・水道料金収納率 98.8%(現年度分(納期限到来日)の翌年度5月末日現在)) ・修繕収益収納率 94.4%(決算以降5月末時点)	収入減少の抑止をはかっている	収入の確保	料金収納率を向上する	水道料金、修繕工事代金について徴収の機会を逃さず、収納率を高めること	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	【水道料金】 ・平成27年度現年度分収納率(平成28年5月末日現在)98.82% ・平成28年度現年度分収納率(平成28年12月末日現在)98.27% ※前年度同時期比+0.03% ・滞納回収の状況について、委託業者と定期的に会議を開催し確認、協議するとともに、連携して回収に努めた。 ・生活支援相談センターについて、徴収委託業者と合同研修を実施し制度理解を図るとともに、連携して回収に努めた。 【修繕工事収益】 ・平成27年度現年度分収納率(平成28年5月末日現在)97.25% ・平成28年度現年度分収納率(平成28年12月末日現在)86.09% ※前年度同時期比-7.72% ・滞納回収の状況について、督促業者等と連携しながら督促や再送付等を行い、回収に努めた。	【水道料金】 平成27年度現年度分収納率については、前年度を0.03ポイント上回った。平成28年度12月末現在の収納率は、調定と収納の時期がずれることから暫定的なものであるが、平成27年度同時期と比べ0.03ポイント上回っており、収納率が良好化している。徴収委託業者への指示、指導を強化し、早期回収に取り組むとともに、福祉部門とも連携して生活困窮者やひとり暮らし高齢者等に対するきめ細かい対応に努めた。水道料金は水道事業の貴重な財源であり、収納率の向上について、今後も徴収委託業者と連携して回収に努めるだけでなく、より効果的な新たな手法を調査・検討する。 【修繕工事収益】 平成27年度現年度分収納率については、前年度を1.35ポイント下回った。平成28年度12月末現在の収納率は、調定と収納の時期がずれることから暫定的なものであるが、平成27年度同時期と比べ7.72ポイント下回っており、収納率が悪化しているが督促業者との連携を強化し、早期回収に取り組むとともに、再送付等も行い対応に努めていく。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	【水道料金】 平成28年度現年度分収納率(平成29年5月末日現在)98.89% ※前年度比+0.07% ・平成29年度現年度分収納率(平成29年11月末日現在)98.29% ※前年度同時期比+0.25% ・生活困窮者への対応として、生活支援相談センターへの繋ぎなど福祉部門との連携を積極的に行っている。 ・滞納回収の状況について、徴収委託業者と定期的に会議を開催し確認、協議するとともに、連携して回収に努めている。 【修繕工事収益】 平成28年度現年度分収納率(平成29年5月末日現在)92.75% ・平成29年度現年度分収納率(平成29年12月末日現在)87.57% ※前年度同時期比+4.89% ・滞納回収の状況について、督促業者等と連携しながら督促や再送付等を行い、回収に努めた。	【水道料金】 平成28年度現年度分収納率については、前年度を0.07ポイント上回った。平成29年度11月現在の現年度分収納率も、調定と収納の時期がずれることから暫定的なものであるが、平成28年度同時期と比べ0.25ポイント上回っており、収納率が良好化している。新料金システムが稼働し、システムのメリットを活かし効率的・効果的な回収を行うとともに、徴収委託業者への指示、指導を強化し、早期回収に取り組んでいる。また、福祉部門とも連携して生活困窮者やひとり暮らし高齢者等に対するきめ細かい対応に努めた。水道料金は水道事業の根幹となる財源であり、収納率の向上について取組みを推進していく。 【修繕工事収益】 平成28年度現年度分収納率(平成30年5月末日現在)92.18% ※前年度同時期比-0.57% ・平成30年度現年度分収納率(平成30年12月末日現在)87.58% ※前年度同時期比+0.01% ・滞納回収の状況について、督促業者等と連携しながら督促や再送付等を行い、回収に努めている。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	【水道料金】 平成29年度現年度分収納率(平成30年5月末日現在)98.90% ※前年度比+0.01% ・平成30年度現年度分収納率(平成30年11月末日現在)98.28% ※前年度同時期比-0.01% ・生活困窮者への対応として、生活支援相談センターへの繋ぎなど福祉部門との連携を積極的に行っている。 ・滞納回収の状況について、徴収委託業者と定期的に会議を開催し確認、協議するとともに、連携して回収に努めている。 【修繕工事収益】 平成29年度現年度分収納率(平成30年5月末日現在)96.56% ※前年度同時期比+4.38% ・令和元年度現年度分収納率(令和元年12月末日現在)97.43% ※前年度同時期比-8.15%、納付期限までには収納が見込まれる。 ・滞納回収の状況について、徴収委託業者等と連携しながら督促や再送付等を行い、回収に努めている。	【水道料金】 平成29年度現年度分収納率(令和元年5月末日現在)98.96% ※前年度比+0.06% ・令和元年度現年度分収納率(令和元年11月末日現在)98.36% ※前年度同時期比+0.08% ・生活困窮者への対応として、生活支援相談センターへの繋ぎなど福祉部門との連携を積極的に行っている。 ・滞納回収の状況について、徴収委託業者と定期的に会議を開催し確認、協議するとともに、連携して回収に努めている。 【修繕工事収益】 平成30年度現年度分収納率(令和元年5月末日現在)95.19% ※前年度同時期比-1.37% ・令和2年度現年度分収納率(令和3年5月末日現在)97.30% ※前年度同時期比+2.11% ・滞納回収の状況について、徴収委託業者と連携しながら督促や再送付等を行い、回収に努めている。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	【水道料金】 令和元年度現年度分収納率(令和2年5月末日現在)98.97% ※前年度比+0.01% ・令和2年度現年度分収納率(令和3年5月末日現在)98.89% ※前年度同時期比-0.08% ・生活困窮者への対応として、生活支援相談センターへの繋ぎなど福祉部門との連携を積極的に行っている。 ・滞納回収の状況について、徴収委託業者と定期的に会議を開催し確認、協議するとともに、連携して回収に努めている。 【修繕工事収益】 令和元年度現年度分収納率(令和2年5月末日現在)95.19% ※前年度同時期比-1.37% ・令和2年度現年度分収納率(令和3年5月末日現在)97.30% ※前年度同時期比+2.11% ・滞納回収の状況について、徴収委託業者と連携しながら督促や再送付等を行い、回収に努めている。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	【水道料金】 令和元年度現年度分収納率(令和2年5月末日現在)98.97% ※前年度比+0.01% ・令和2年度現年度分収納率(令和3年5月末日現在)98.89% ※前年度同時期比-0.08% ・生活困窮者への対応として、生活支援相談センターへの繋ぎなど福祉部門との連携を積極的に行っている。 ・滞納回収の状況について、徴収委託業者と定期的に会議を開催し確認、協議するとともに、連携して回収に努めている。 【修繕工事収益】 令和元年度現年度分収納率(令和2年5月末日現在)95.19% ※前年度同時期比-1.37% ・令和2年度現年度分収納率(令和3年5月末日現在)97.30% ※前年度同時期比+2.11% ・滞納回収の状況について、徴収委託業者と連携しながら督促や再送付等を行い、回収に努めている。	【水道料金】 令和元年度現年度分収納率(令和2年5月末日現在)98.97% ※前年度比+0.01% ・令和2年度現年度分収納率(令和3年5月末日現在)98.89% ※前年度同時期比-0.08% ・生活困窮者への対応として、生活支援相談センターへの繋ぎなど福祉部門との連携を積極的に行っている。 ・滞納回収の状況について、徴収委託業者と定期的に会議を開催し確認、協議するとともに、連携して回収に努めている。 【修繕工事収益】 令和元年度現年度分収納率(令和2年5月末日現在)95.19% ※前年度同時期比-1.37% ・令和2年度現年度分収納率(令和3年5月末日現在)97.30% ※前年度同時期比+2.11% ・滞納回収の状況について、徴収委託業者と連携しながら督促や再送付等を行い、回収に努めている。	

八尾市水道事業中期経営計画の令和2年度チェック&アクト

分類 番号	説明	目標	取組 事項	対策	めざす姿 (令和2年度末に 実現したい姿)	平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和2年度		
						評価	実績・状況 【平成28年12月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況 【平成29年12月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況 【平成30年12月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況 【令和元年12月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況 【令和3年3月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)
13-08-16	収入確保に関する新たな提案などが積極的に出せるしくみをつくるためすべての職員に財政状況を定期的に報告します。	収入減少の抑止をはかっている	収入の確保	他の収入獲得手段の導入を検討する	職員からの提案が出てきて、その検討がされていること	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	八尾市行財政改革行動計画策定にあたり取り組みを検討した結果、庁舎の移転や工事の際に発生する金属類の売却を行い、また、職員の研修場の設備を職員で設置するなどコスト削減に努めた。また、収益・事業費用月別一覧表、資産・負債資本月別一覧表等を水道局職員が情報共有できるようにしている。	八尾市行財政改革行動計画策定にあたり各所属において取り組みを検討し、実施している。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	平成28年度に八尾市行財政改革行動計画を策定する際に各所属において他の収入獲得手段を検討し、平成29年度においても同計画の改定にあたり、新たな取り組みを検討したが提案には至らなかった。平成28年度に引き続き、庁舎の移転や工事の際に発生する金属類の売却を行っている。また、定期的に資金の変動を示す「資金予算表」及び収益・事業費用月別一覧表、資産・負債資本月別一覧表等を水道局職員が情報共有できるようにしている。	八尾市行財政改革行動計画の改定にあたり各所属において新たな収入確保について取り組みを検討した。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	平成28年度以降、八尾市行財政改革行動計画を策定する際に各所属において他の収入獲得手段を検討し、工事の際に発生する金属類の売却を行っている。また、定期的に資金の変動を示す「資金予算表」及び収益・事業費用月別一覧表、資産・負債資本月別一覧表等を水道局職員が情報共有できるようにしている。	八尾市行財政改革行動計画の改定にあたり各所属において新たな収入確保について取り組みを検討した。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	本年度、「新やお改革プラン」及び「新やお改革プラン実行計画」の策定にあたり新たな収入確保の取り組みを検討した。	各課において、今まで以上の収入確保の取り組みは見いだせなかったが、引き続き料金収入の確保などの取り組みを継続する。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	他市の事例等を参考に、新たな収入確保に向け協議する機会をもった。	小水力発電事業の導入に向け、一定の進捗が見られた。
14-09-17	配水される水の中には、主として管路等からの漏水や事故により消失した水(無効水量)が存在します。他の事業体の事例の研究や計画的な漏水調査を行うことで、無効水量の縮減に取り組めます。	より一層の経費節減をはかっている	費用の抑制	無効水量を縮減する	毎年度末 有収率95%以上	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	漏水調査を業務委託し、計画どおり実施することができた。平成28年12月時点で有収率が94.0%となっている。	市内一円て漏水調査の実施や老朽管の整備工事実施時には古い引込管のやりかえを実施し引き続き漏水防止に取り組んでいく。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	漏水調査を業務委託し、計画どおり実施する事ができた。漏水の発見に努力しているが、微小な漏水を発見することは不可能なため平成29年12月時点で有収率が93.12%となっている。	市内一円て漏水調査の実施や老朽管の整備工事実施時には古い給水管の布設替えを実施し引き続き漏水防止に取り組んでいく。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	漏水調査を業務委託し、計画どおり実施する事ができた。漏水の発見に努力しているが、微小な漏水を発見することは不可能なため平成30年12月時点で有収率が93.45%となっている。	市内一円て漏水調査の実施や老朽管の整備工事実施時には古い給水管の布設替えを実施し引き続き漏水防止に取り組んでいく。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	漏水調査を業務委託し、計画に基づき実施している。月別の速報値では、令和元年7月以降の有収率は95%を超えている。	漏水調査業務を実施し、漏水が発見された場合に速やかな修繕が可能な体制を整えている。水道管布設替工事時には古い給水管の取替を積極的にを行い、漏水防止に取り組んでいる。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	漏水調査を業務委託し、計画に基づいて実施している。耐震化工事に伴う事業用水量が増加したため有収率は低下傾向である。	漏水調査業務を実施し、漏水が発見された場合は速やかに修繕できるような体制を整えている。水道管布設替工事時には古い給水管の取替を積極的にを行い、漏水防止に取り組んだ。
14-09-18	水道事業を担う企業の職員として、経営情報の理解が深まり、さまざまなアイデアや提案が出て、経営の健全化につながる取り組みが進められるように努めます。このために全職員が財務諸表について基本的な理解ができることを目標とします。	より一層の経費節減をはかっている	費用の抑制	職員のコスト意識を高める	職員のコスト意識が高まり、費用削減の提案が常に行われていること	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	八尾市行財政改革行動計画策定にあたり取り組みを検討した結果、超過勤務の抑制などコスト削減の取り組みを行うこととなった。また、財政状況を把握するための前提知識となる複式簿記と、実際に決算書を理解するために必要な知識を習得すべく、簿記・会計研修を実施するとともに、グループウェアポータルを用いて所属内ライブラリに研修資料を掲載し、職員がいつでも閲覧できる環境を整えた。	八尾市行財政改革行動計画策定にあたり各所属において取り組みを検討し、実施している。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	八尾市行財政改革行動計画改定にあたり取り組みを検討した結果、新たな事業者選定手法(オープンカウンター)の導入や超過勤務の抑制及び水道管の口径の見直しなどコスト削減の取り組みを行うこととなった。また、財政状況を把握するための前提知識となる複式簿記と、実際に決算書を理解するために必要な知識を習得すべく、簿記・会計研修を実施する予定である。	八尾市行財政改革行動計画改定にあたり各所属において取り組みを検討し、実施している。	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施されなかった部分がある	八尾市行財政改革行動計画改定にあたり取り組みを検討したが、新たな事業者選定手法(オープンカウンター)の導入や超過勤務の抑制及び水道管の口径の見直しなどコスト削減の取り組み以外の取り組みは見いだせなかったが、財政状況を把握するための前提知識となる複式簿記と、実際に決算書を理解するために必要な知識を習得すべく、簿記・会計研修を実施した。	八尾市行財政改革行動計画改定にあたり各所属において取り組みを検討し、実施しているが、本年度は新たに実施する取り組みはなかった。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	本年度、「新やお改革プラン」及び「新やお改革プラン実行計画」の策定にあたり、新たな経費抑制の取り組みとして、情報発信のあり方の見直しや水道事業の広域化の検討などを計画として計上した。	各課において、費用抑制の取り組みの検討や提案が行われた。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	改めて無駄な支出がないか、業務の見直しを含め検討する機会を持った。	環境改善活動の見直しによる更なる光熱水費等の削減や、有収率改善にむけた検討部会など具体的な検討を行った。
14-09-19	市民やお客さまに安全な水道水を安定的にお届けできることや事故・災害時においても迅速・的確に対応できるように必要な職員体制の確保を基本としつつ、業務の見直しや外部委託、外部人材の活用などを積極的に進めるとともに、個人の能力が最大限に発揮できる人材育成に努め、事業を継続していきます。	より一層の経費節減をはかっている	費用の抑制	人件費を削減する	業務の見直し等により、5名程度の人員を削減する(水質検査の共同化、料金システムの再構築、新庁舎建設完了など)	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された部分がある	平成28年度は庁舎建設業務、庁舎移転業務等のため職員総数は2名増加し98名となったが、定数内職員については、平成27年度83名から平成28年度82名と1名減少した。	定期水質検査については、大阪広域水道企業団市町村水道水質共同検査として委託したが、庁舎の移転などにともなう業務量の増に伴い人員が一時的に増加した。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	新規採用の抑制と業務の見直し等により、平成29年12月末の職員総数は2名減少し、96名となった。また、定数内職員については、平成28年度82名から平成29年度79名と3名減少した。	水質検査の共同化等の業務の見直しにより、人員の削減を行った。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	新規採用の抑制と業務の見直し等により、平成30年12月末の職員総数は6名減少し、90名となった。また、定数内職員については、平成29年度から1名減少して78名である。	機構の見直しや新料金システムの本格稼働等により人員の削減を行った。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	業務の見直し等と人員配置の精査により、令和元年12月末の職員総数は3名減少し、87名となった。また、定数内職員については、平成30年度から1名減少して76名である。平成27年度と令和元年12月末の比較では、定数内職員7名減、職員総数10名減となっている。	料金システム開発の完了や庁舎機能更新(耐震化等)事業の完了にあわせ、主に管理職の配置を精査した。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	業務の見直し等と人員配置の精査により、令和3年3月末の職員総数は4名減少し、83名となった。また、定数内職員については、77名である。	新財務会計システムの運用やビジョン、経営戦略の策定が終わり、改めて管理職の配置を精査した。

八尾市水道事業中期経営計画の令和2年度チェック&アクト

分類 番号	説明	目標	取組 事項	対策	めざす姿 (令和2年度末に 実現したい姿)	平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和2年度					
						評価	実績・状況 【平成28年12月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況 【平成29年12月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況 【平成30年12月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況 【令和元年12月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況 【令和3年3月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)			
14-09-20	新庁舎への移転を契機に、事務文書の抑制、窓口サービスの迅速化等、職員の仕事のやりがいの向上により新たな知恵を創造していく組織風土など仕事のあり方を変えていく取り組みを進めます。	より一層の経費削減をはかっている	費用の抑制	経常経費を削減する	新たな知恵を創造していく組織風土など仕事のあり方を変えていく取り組みにより経費が削減されていること	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	庁舎移転に合わせてファイリングシステムの導入など業務改善に取り組んでおり、また、年間超過勤務時間計画書及び縮減取組書を作成し、コスト削減に取り組んでいる。超過勤務時間数は平成28年12月末現在では行財政改革の取り組み項目の平成26年度実績から20%削減の計画値である5,839時間に対し、5,684時間となっている。	庁舎の移転作業などにより8月から9月にかけて超過勤務が増えたり職員の見直し等が行われ超過勤務時間が削減された。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	ファイリングシステムの運用や事務改善に取り組むとともに、年間超過勤務時間計画書及び縮減取組書を作成し、コスト削減に努めた。超過勤務時間数は平成29年12月末現在では行財政改革の取り組み項目の平成26年度実績から20%削減の計画値である5,724時間に対し、4,009時間となっている。	職員の協力による業務の見直し等が行われ超過勤務時間が削減された。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	ファイリングシステムの運用や事務改善に取り組むとともに、年間超過勤務時間計画書及び縮減取組書を作成し、コスト削減に努めた。超過勤務時間数は平成30年12月末現在では行財政改革の取り組み項目の平成26年度実績から20%削減の計画値である5,724時間に対し、3,822時間となっている。	職員の協力による業務の見直し等が行われ超過勤務時間が削減された。	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおりに対策が実施されなかった部分がある	平成30年度に実施した機構改革(係の再編)の効果により、工事管理課工事係をはじめとして、担当を固定せず、業務を平準化するなど超過勤務の縮減に取り組んだ。年間超過勤務時間計画書及び縮減取組書を作成し、コスト削減に努めた。超過勤務時間数は令和元年12月末現在では行財政改革の取り組み項目の平成26年度実績から20%削減の計画値である5,724時間となっている。	平成30年度に実施した機構改革(係の再編)の効果により、業務の平準化を図るなど一定の効果はあったが、一部においては期待した結果にはなっていないところもある。	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおりに対策が実施されなかった部分がある	超過勤務時間数は、前年度5597時間に対し、今年度4704時間となり16%削減した。	職員の仕事のやりがいや新たな知恵を創造する組織風土への取組は、非常に難しい課題である。			
15-10-21	水道施設・水道管路の状況を的確に把握するため、関連する情報の蓄積・管理・分析が徹底できる体制を確保します。	予防保全型維持管理を含む適切な維持管理により既存施設・設備の長寿命化をはかっている	投資の合理化	劣化状況を把握する	水道施設の状態や、管路の状況に関する情報が常に最新のものとして確認できる状態であること	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	施設の点検、マッピングデータの更新は日常的(毎日)に行っている。	日常的に施設の点検は行っており、平成28年度も早期発見に努め、修繕等を行った。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	施設の点検、マッピングデータの更新は日常的に行っている。	日常的に施設の点検は行っており、平成29年度も早期発見に努め、修繕等を行った。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	施設の点検、マッピングデータの更新は日常的に行っている。	日常的に施設の点検は行っており、平成29年度も早期発見に努め、修繕等を行った。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	施設の点検、マッピングデータの更新を日常的に行った。	施設の点検、マッピングデータの更新は日常的に行っている。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	施設の点検、マッピングデータの更新を日常的に行った。	施設の点検、マッピングデータの更新を日常的に行っている。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	施設の点検、マッピングデータの更新を日常的に行った。	施設の点検、マッピングデータの更新を日常的に行っており、施設の状態を的確に把握できている。
15-10-22	耐用年数の延伸を図るために必要となる設備の保守点検や想定耐用年数が長いとされる高機能水道管の使用を積極的に進めています。	予防保全型維持管理を含む適切な維持管理により既存施設・設備の長寿命化をはかっている	投資の合理化	使用年数の延伸をはかる	定期的な設備等の点検や保守及び耐震管への更新が行われていること	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	電気設備やポンプ設備等の点検により、早期に故障を発見し、事故を未然に防止することができた。老朽管の更新時、耐震管で更新を行った。	日常的に施設の点検は行っており、平成28年度も早期発見に努め、修繕等を行った。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	電気設備やポンプ設備等の点検により、早期に故障を発見し、事故を未然に防止することができた。老朽管の更新時、耐震管で更新を行った。	日常的に施設の点検は行っており、平成29年度も早期発見に努め、修繕等を行った。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	電気設備やポンプ設備等の点検により、事故を未然に防止した。老朽管の更新時、耐震管で更新を行った。	日常的に施設の点検は行っており、平成30年度も早期発見に努め、修繕等を行った。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	電気設備やポンプ設備等の点検により、施設の安定稼働を図った。老朽管の更新時、耐震管で更新を行った。	日常的に施設の点検は行っており、令和元年度も早期発見に努め、修繕等を行った。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	電気設備やポンプ設備等の点検により、施設の安定稼働を図った。老朽管の更新時、耐震管で更新を行った。	日常的に施設の点検は行っており、令和元年度も早期発見に努め、修繕等を行った。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	電気設備やポンプ設備等の点検により、施設の安定稼働を図った。老朽管の更新時、耐震管で更新を行った。	日常的に施設の点検は行っており、令和2年度も早期発見に努め、修繕等を行った。また、適切に点検を行うことで、予防保全がなされ、設備の長寿命化を図った。
16-10-23	水道管路の更新に際しては、管路の状況や社会経済の状況変化を踏まえ、効率的・効果的な更新となるよう工事の進め方を定期的に見直していきます。 ～第8次整備(老朽管更新)事業の優先順位～ 老朽管更新事業における優先順位設定については、老朽管のうち、ア.経年化度〔布設年代が古い〕 イ.漏水事故発生度〔漏水発生率が高い〕 ウ.耐震性〔耐震性能を有する継手ではなく耐震性が低い〕 エ.液状化危険度〔液状化度が高い地盤に埋設されている〕 オ.重要施設数〔給水対象となる重要施設が多い〕 カ.重要幹線道路〔重要幹線道路に埋設されている〕 以上の項目について評価を行い、評価が低い管路から優先順位を設定のうえ、更新を進めていきます。	将来予測の必要の予測を踏まえ、整備する施設・設備が必要に對して過剰な性能を有するものとなるような投資や、他の施設・設備で代替可能なものについての投資とならないよう精査するとともに、優先順位が低い事業の先送り、取りやめを精査している	投資の合理化	アセットマネジメントに基づき、新規・更新投資の過剰投資・重複投資を精査し、優先順位を付す	事業の優先順位を明確化し、公表していること	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	水道管路の更新にあたり、「経年化度」「漏水事故発生度」「耐震性」「液状化危険度」「重要施設数」「重要幹線道路」について評価を行い、優先順位を設定した。また管路の状況や社会経済の状況変化を踏まえ、効率的・効果的な更新となるよう事業予定の時期を決定し、四半期毎に公表している。	事業の優先順位は明確にし、効率的・効果的な更新となるよう事業予定の時期を決定し、四半期毎に公表している。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	水道管路の更新にあたり、「経年化度」「漏水事故発生度」「耐震性」「液状化危険度」「重要施設数」「重要幹線道路」について評価を行い、優先順位を設定した。また管路の状況や社会経済の状況変化を踏まえ、効率的・効果的な更新となるよう事業予定の時期を決定し、四半期毎に公表している。	事業の優先順位は明確にし、効率的・効果的な更新となるよう事業予定の時期を決定し、四半期毎に公表している。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	水道管路の更新にあたり、「経年化度」「漏水事故発生度」「耐震性」「液状化危険度」「重要施設数」「重要幹線道路」について評価を行い、優先順位を設定した。また管路の状況や社会経済の状況変化を踏まえ、効率的・効果的な更新となるよう事業予定の時期を決定し、四半期毎に公表している。	事業の優先順位は明確にし、効率的・効果的な更新となるよう事業予定の時期を決定し、四半期毎に公表している。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	水道管路の更新にあたり、「経年化度」「漏水事故発生度」「耐震性」「重要施設」「重要幹線道路」について評価を行い、優先順位を設定した。また管路の状況や社会経済の状況変化を踏まえ、効率的・効果的な更新となるよう事業予定の時期を決定し、四半期毎に公表している。	事業の優先順位は明確にし、効率的・効果的な更新となるよう事業予定の時期を決定し、四半期毎に公表している。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	水道管路の更新にあたり、「経年化度」「漏水事故発生度」「耐震性」「重要施設」「重要幹線道路」について評価を行い、優先順位を設定した。また管路の状況や社会経済の状況変化を踏まえ、効率的・効果的な更新となるよう事業予定の時期を決定し、四半期毎に公表している。	事業の優先順位は明確にし、効率的・効果的な更新となるよう事業予定の時期を決定し、四半期毎に公表している。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	水道管路の更新にあたり、「経年化度」「漏水事故発生度」「耐震性」「重要施設」「重要幹線道路」について評価を行い、優先順位を設定した。また管路の状況や社会経済の状況変化を踏まえ、効率的・効果的な更新となるよう事業予定の時期を決定し、四半期毎に公表している。	「八尾市水道施設整備計画」の策定により投資、事業の優先順位などが図られた。

八尾市水道事業中期経営計画の令和2年度チェック&アクト

分類 番号	説明	目標	取組 事項	対策	めざす姿 (令和2年度末に 実現したい姿)	平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和2年度		
						評価	実績・状況 【平成28年12月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況 【平成29年12月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況 【平成30年12月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況 【令和元年12月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況 【令和3年3月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)
17-10-24	現在進めている水道施設のダウンサイジングの取り組みを予定どおり進め、最終的には配水池を7か所から4か所に削減します(25年度に1か所廃止済)。また、将来の需要予測を定期的かつ的確に行い、水道施設が効率的に稼働するように努めます。	既存の施設・設備の更新等に当たり、将来必要の予測を踏まえて、性能(サイズ、年数、耐力等)の合理化、廃止・統合等に取り組んでいる	投資の合理化	アセットマネジメントに基づき、既存施設・設備の性能の合理化、廃止・統合(ダウンサイジング)をはかる	ダウンサイジングによる費用抑制効果の検証を行い、結果を公表していること	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおりに対策が実施されなかった部分がある	ダウンサイジングによる費用抑制効果については、再度検証を行っているところである。	検証の結果次第では、ダウンサイジングの方法について計画を見直す必要がある。	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおりに対策が実施されなかった部分がある	アセットマネジメントに向け、現有情報の整理を行うことにより、将来需要の予測のための基礎資料の整理を実施した。	基礎資料を基に、今後、アセットマネジメントを進めていく。	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおりに対策が実施されなかった部分がある	アセットマネジメントに向け、現有情報の整理を行うことにより、将来需要の予測のための基礎資料の整理を実施した。	詳細型アセットマネジメントの実施に向け、将来需要の予測のための基礎資料の整理に引き続き取り組んでいきたい。	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおりに対策が実施されなかった部分がある	アセットマネジメントに向け、現有情報の整理を行うことにより、将来需要の予測のための基礎資料の整理を実施した。南部低区配水池のダウンサイジングと耐震化についての設計業務の補正予算が八尾市議会令和元年9月定例会において成立し、取り組みを進めている。	将来需要予測のための基礎資料を一定整理したが、詳細型アセットマネジメントが実施されていない。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	南部低区配水池のダウンサイジングと耐震化について、令和元年度より取り組みを進めている。水質監視システムの更新に伴い、クラウド化を図ることで回線使用料の削減やデータの解析における合理的な監視方法の構築について検討を行った。	水質監視システムのクラウド化の実現に向け、発注を行う予定である。「八尾市水道事業ビジョン」策定の中でアセットマネジメントの実施を行った。
18-11-25	水道事業のアセットマネジメントを引き続き活用し、定期的な検証を行い、必要な投資の内容を的確に把握します。また、これらの情報に基づき、事業費を平準化出来るように努めます。	中期的な収入と支出の均衡をはかっている	経営戦略の策定	投資試算をとりまとめる	前年度シミュレーションより、平準化が進んでいること	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	配水管整備事業については平準化を行い、平成28年度より第8次配水管整備事業を進めている。	アセットマネジメントによる財政計画との整合を図り、平準化を進めていく必要がある。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	配水管整備事業については平準化を行い、平成28年度より第8次配水管整備事業を進めている。	引き続き、アセットマネジメントによる財政計画との整合を図り、平準化を考慮しつつ配水管整備事業を進めていく。	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおりに対策が実施されなかった部分がある	配水管整備事業については平準化を行い、平成28年度より第8次配水管整備事業を進めてきたが、重要給水施設への管路更新を前倒しすることとなったため、事業費が増加した。	引き続き、アセットマネジメントによる財政計画との整合を図り、平準化を考慮しつつ配水管整備事業を進めていく。	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおりに対策が実施されなかった部分がある	配水管整備事業については平準化を行い、平成28年度より第8次配水管整備事業を進めている。	アセットマネジメントが未実施であるが、既存の財政計画との整合を図り、平準化を考慮しつつ配水管整備を進めている。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	配水管整備事業については平準化を行い、平成28年度より第8次配水管整備事業を進めている。また、アセットマネジメントを実施するとともに、「八尾市水道施設整備計画」及び「第9次配水管整備事業計画」を策定した。	計画年度の最終年として既存の財政計画との整合を図り、平準化を考慮しつつ配水管整備を進めた。
18-11-26	事業に必要な財源を確保し、かつ経営の負担を軽減できるよう、さまざまな手法を活用し、検証・試算に取り組みます。また、さまざまな検討を行い新たな収入を確保します。	中期的な収入と支出の均衡をはかっている	経営戦略の策定	財源試算をとりまとめる	財政収支計画とその他の財源の確保を図ること	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおりに対策が実施されなかった部分がある	平成27年度は第4次財政計画と比較して給水量、有収水量等の主要業務量については、いずれも計画値を下回った。収益的収支については、単年度損益では計画値を4億2483万3千円上回った。資本的収支については、資本的収入が11億1894万1千円下回ったが、資本的支出が計画値を21億4817万9千円下回ったため、収支差引では、計画値より10億2923万8千円上回った。	将来的な水道施設の整備や管路の維持管理に必要な財源をどのように確保していくのかについて、更なる検討や協議を行う必要がある。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	平成28年度は中期経営計画の財政収支計画と比較して給水量、有収水量等の主要業務量については、有収率を除き、計画値を上回った。収益的収支については、単年度損益では計画値を1億8486万2千円上回った。資本的収支については、資本的収入が計画値を6億708万6千円下回ったが、資本的支出が計画値を9億1770万7千円下回ったため、収支差引では、計画値より3億1062万1千円上回った。	中期経営計画のチェック&アクトを行い、前年度決算及び財政収支計画との比較・原因分析を実施した。今後も将来的な水道施設の整備や管路の維持管理に必要な財源をどのように確保していくのかについて、更なる検討や協議を行う必要がある。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	平成29年度は中期経営計画の財政収支計画と比較して給水量、有収水量等の主要業務量については、有収率を除き、計画値を上回った。収益的収支については、単年度損益では計画値を2億5650万1千円上回った。資本的収支については、資本的収入が計画値を9億9338万3千円下回ったが、資本的支出が計画値を4億4832万7千円下回ったため、収支差引では、計画値より2億5494万4千円上回った。	中期経営計画のチェック&アクトを行い、前年度決算及び財政収支計画との比較・原因分析を実施した。本年度については、アセットマネジメントは未実施であるが、水道施設・管路の更新についての検討において、今後100年間にわたる更新需要を、実使用年数をもとに試算したところ、毎年約20億円程度の投資が見込まれるため、八尾市水道事業経営審査会による判断を仰いでいる。	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおりに対策が実施されなかった部分がある	平成30年度は中期経営計画の財政収支計画と比較して給水量、有収水量等の主要業務量については、有収率を除き、計画値を上回った。収益的収支については、単年度損益では計画値を2億5650万1千円上回ったが、資本的支出が計画値を4億7524万6千円上回り、収支差引では、不足額が計画値より4億8511万8千円上回った。	中期経営計画のチェック&アクトを行い、前年度決算及び財政収支計画との比較・原因分析を実施した。本年度については、アセットマネジメントは未実施であるが、水道施設・管路の更新についての検討において、今後100年間にわたる更新需要を、実使用年数をもとに試算したところ、毎年約20億円程度の投資が見込まれるため、八尾市水道事業経営審査会による判断を仰いでいる。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	資金の変動を示す「資金予算表」及び毎月の収益・費用を示す「月別収益・費用一覧」を定期的に作成し財務状況の現状把握と分析を実施した。また、経営戦略の策定にあたり、コンサルタントの支援によるアセットマネジメント・財源試算については、給水収益と企業債充当率により複数のパターンを検討した。	中期経営計画のチェック&アクトを行い、前年度決算及び財政収支計画との比較・原因分析を実施した。また、経営戦略の策定にあたり、コンサルタントの支援によるアセットマネジメント・財源試算については、給水収益と企業債充当率により複数のパターンを検討した。
18-11-27	これからの水道施設の整備構想と財源の裏付け、水道事業全体にかかる財政状況を統括して投資試算と財源試算の調和と融合をはかり、水道施設整備と財政運営の計画的かつ一体的な推進に取り組む。	中期的な収入と支出の均衡をはかっている	経営戦略の策定	投資・財政計画の連携をはかる	財政収支計画に基づいた事業計画に取り組んでいること	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	平成28年度の収益的収支については、平成29年12月末時点においては給水収益が財政収支計画を上回る見込みであるため、当初予算を上回る収益を確保できる見込みである。一方、建設改良費の施設耐震化事業の工事の進捗が遅れており、結果、資本的収入、資本的支出とも、計画を下回る見込みである。今後、平成28年度最終補正予算案と平成29年度当初予算案との比較を行う。次年度以降、毎年度の決算と当初予算に応じ、継続費等の執行状況を含め財政収支の見通しを検証し、次年度予算編成に反映させるとともに、計画の決算時の状況を公表することとする。	予算編成時にヒアリングを実施し、経費の精査を実施するとともに財務会計システムを用いて投資試算と財源試算と投資以外経費の分析を行い、均衡を図った。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	平成29年度の収益的収支については、平成29年12月末時点において、受託工事費用が中期経営計画の財政収支計画を下回る見込みであるが、給水収益が計画を上回る見込みのため、単年度損益は計画を上回る収益を確保できる見込みである。一方、資本的収支については、建設改良費の施設耐震化事業の工事の進捗が遅れ等により、資本的収入、資本的支出とも、計画を下回る見込みである。	予算編成時にヒアリングを実施し、経費の精査を実施するとともに財務会計システムを用いて投資試算と財源試算と投資以外経費の分析を行い、均衡を図った。	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおりに対策が実施されなかった部分がある	平成30年度の収益的収支については、平成30年12月末時点において、給水収益が計画を上回り、また中期経営計画策定時に予定していた受水費の改定があったため、単年度損益は計画を上回る収益を確保できる見込みである。一方、資本的収支については、施設耐震化事業の遅れなどにより、資本的収入、資本的支出とも、平成30年度では計画値を上回る見込みである。	予算編成時にヒアリングを実施し、経費の精査を実施するとともに財務会計システムを用いて投資試算と財源試算と投資以外経費の分析を行い、均衡を図った。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	令和元年度の収益的収支については、令和元年12月末時点において、給水収益が計画を上回り、また平成30年度に受水費の改定があったため、単年度損益は計画を上回る収益を確保できる見込みである。一方、資本的収支については、庁舎機能更新(耐震化等)事業及び監視制御設備更新事業が完了したものの施設耐震化事業の遅れや、本年度1号補正予算にて南部低区配水池耐震化等設計業務を計上するなど、資本的収入、資本的支出とも、令和元年度では計画値を大幅に上回る見込みである。	予算編成時にヒアリングを実施し、経費の精査を実施するとともに財務会計システムを用いて投資試算と財源試算と投資以外経費の分析を行い、均衡を図った。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	経営戦略の策定にあたり、コンサルタントの支援によるアセットマネジメント・財源試算については、給水収益と企業債充当率より複数のパターンを行い、投資試算、財源試算と投資以外の経費の均衡を図った。	予算編成時にヒアリングを実施し、経費の精査を実施するとともに財務会計システムを用いて投資試算と財源試算と投資以外経費の分析を行い、均衡を図った。



八尾市水道事業中期経営計画の令和2年度チェック&アクト

分類 番号	説明	目標	取組 事項	対策	めざす姿 (令和2年度末に 実現したい姿)	平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和2年度			
						評価	実績・状況		ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況		ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況		ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況		ふりかえり講評 (原因分析)
							【平成28年12月末現在】				【平成29年12月末現在】				【平成30年12月末現在】				【令和元年12月末現在】		
19-11-28	公営企業会計基準の見直し効果を認識し、他水道事業者との経営指標の比較や企業会計を意識した分析手法の検討・実践に取り組み、健全経営に活かしていきます。	財政基盤の安定化をはかっている	経営戦略の策定	多面的に財政状況を分析する	財政状況分析において事業実態を反映した比較分析が行われていること	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	経営指標を算出し、結果の分析を実施するとともに、当該指標について大阪府内の水道事業者との情報共有のため情報提供を行った。また、平成27年度決算時点において大阪府内の他の事業者との比較を行った。	決算後に大阪府内の事業者との比較資料を作成した。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	経営指標を算出し、結果の分析を実施するとともに、当該指標について大阪府内の水道事業者との情報共有のため情報提供を行った。また、平成28年度決算時点において大阪府内の他の事業者との比較を行った。	平成28年度の水道事業会計の決算の確定後に、大阪府内の事業者との自己資本構成比率等の経営財務状況について比較資料を作成し、分析した。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	経営指標を算出し、結果の分析を実施するとともに、当該指標について大阪府内の水道事業者との情報共有のため情報提供を行った。また、平成29年度決算時点において大阪府内の他の事業者との比較を行った。	平成29年度の水道事業会計の決算の確定後に、大阪府内の事業者との自己資本構成比率等の経営財務状況について比較資料を作成し、分析した。	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施されなかった部分がある	経営指標を算出し、結果の分析を実施するとともに、当該指標について大阪府内の水道事業者との情報共有のため情報提供を行った。また、平成29年度決算時点における全国の類似団体との比較や平成30年度年度決算時点において大阪府内の他の事業者との比較を行った。	平成30年度の水道事業会計の決算の確定後に、大阪府内の事業者との自己資本構成比率等の経営財務状況について比較資料を作成し、分析したが、企業債残高のあり方について具体的な目標値の設定には至っていない。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	定期的な一定の経営指標を算出し、経過分析を実施した。また、当該指標について府下水道事業者と情報共有している。	経営戦略の策定において、企業債残高のあり方について具体的な目標値を設定した。	
19-29	水道事業の、投資事業の重要な財源である企業債については、長期的な視点での積極的な活用を考えた一方で、次世代の過度な負担にならないよう適切な取り扱いに努めます。	財政基盤の安定化をはかっている	経営戦略の策定	企業債残高水準を適正に管理する	次世代に大幅な負担を残さない水準化された償還計画であること	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	平成27年度の企業債の発行額は9億5350万円、平成28年度の発行額は18億4990万円を下回った。	第4次財政計画の計画額を下回る発行額とすることができた。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	平成28年度の企業債の発行額は13億500万円、平成29年度の発行額は3200万円を下回った。	事業費に対する企業債の借入額の割合を管理することにより、中期経営計画の財政収支計画の計画額を下回る発行額とすることができた。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	平成29年度の企業債の発行額は9億3200万円、平成30年度の発行額は9億100万円を下回った。	施設耐震化事業の遅れなどの影響もあるが、事業費に対する企業債の借入額の割合を管理することにより、中期経営計画の財政収支計画の計画額を下回る発行額とすることができた。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	平成30年度の企業債の発行額は16億1100万円、平成31年度の発行額は6900万円を上回った。	施設耐震化事業の遅れなどの影響もあり、企業債発行額が中期経営計画の計画額を大幅に上回ったが、企業債残高は計画額の140億3710万4千円を3億1819万1千円を下回る残高とすることができた。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	企業債残高は、現在、減少傾向にあるが、今後は増加する見通しである。また、アセットマネジメント分析を実施し、企業債について現行の充当率を維持するケースと、企業債残高と企業債残高対給水収益比率の目標値を達成する充当率を採用するケースのそれぞれで試算を行った。	企業債残高は中期経営計画の財政収支計画の計画額を下回る残高とすることができた。	
19-30	水道事業の日々の支出のともになる現金が不足することは、事業の継続を損なうこととなり、資金不足は絶対にあってはならないことであるため、常に将来を見通し、支出に備えた資金が確保できるように努めます。	財政基盤の安定化をはかっている	経営戦略の策定	キャッシュフローバランスを適正に管理する	支払に必要な資金が常に確保されていること	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	平成27年度決算において、流動比率は287.6%を確保することができた。	健全化の目安といわれる100%を上回ることができた。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	平成28年度決算において、流動比率は324.3%を確保することができた。	健全化の目安といわれる100%を上回ることができた。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	平成29年度決算において、流動比率は252.0%を確保することができた。	健全化の目安といわれる100%を上回ることができたが、平成29年度より下回っており、留意が必要である。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	平成30年度決算において、流動比率は248.7%を確保することができた。	流動比率が健全化の目安といわれる100%を上回ることができたが、平成29年度から年々下回っており、留意が必要である。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	令和2年度決算見込みで流動比率は260%となる。	流動比率が健全化の目安といわれる100%を上回ることができた。	
19-11-31	水道料金は、巨額な投資に繋がる大口需要の抑制と低廉な生活用水の供給に資するため、施設整備費などに要する費用を大口需要者に負担を求める従量料金の逓増制を採用しています。しかしながら、社会環境の変化に伴い、製造業を始めとした大口需要者の減少と人口減少社会の進展に伴い、給水原価を下回るランクの水量のお客さまが増加しています。	財政基盤の安定化をはかっている	経営戦略の策定	水道料金体系の課題を抽出する	市民が理解できる適正な水道料金等の根拠が明確になっていること	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施されなかった部分がある	平成27年度に改定された日本水道協会の水道料金算定要領の研究や府内の事業者の改定状況について情報収集を実施した。また、料金シミュレーションを取り入れたシステムの開発に取り組んだ。	日本水道協会が取りまとめた報告書や資料を活用したが、総括原価方式に基づいた水道料金水準や水道使用量が増えるほどに使用単価も増える逓増性や給水原価を下回る部分の取り扱いなどについて、現在、日本水道協会が策定中の「料金改定業務の手引き(仮称)」に基づき具体的な検討を行う必要がある。	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施されなかった部分がある	平成27年度に改定された日本水道協会の水道料金算定要領の研究や府内の事業者の改定状況について情報収集を実施した。また、料金改定のシミュレーションを取り入れた料金システムの開発が完了したため、今後、設置される水道事業を統合に向けた研究会等での情報を踏まえ、次期水道ビジョンや中期経営計画の策定に反映させる。	日本水道協会が取りまとめた報告書や資料を活用したが、総括原価方式に基づいた水道料金水準や水道使用量が増えるほどに使用単価も増える逓増性や給水原価を下回る部分の取り扱いなどについて、平成29年3月に策定された日本水道協会の「料金改定業務の手引き」に基づき研究を行っている。	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施されなかった部分がある	平成27年度に改定された日本水道協会の水道料金算定要領の研究や府内の事業者の改定状況について情報収集を実施した。また、料金改定のシミュレーションを取り入れた料金システムが稼働した。今後、次期水道ビジョンや中期経営計画の策定に事業統合を見据えた経営収支見直しを策定する予定である。	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施されなかった部分がある	平成27年度に改定された日本水道協会の水道料金算定要領の研究や水道使用量が増えるほどに使用単価も増える逓増性や給水原価を下回る部分の取り扱いなどについて、平成29年3月に策定された日本水道協会の「料金改定業務の手引き」に基づき検討を進める必要がある。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	平成27年度に改定された日本水道協会の水道料金算定要領の研究や水道使用量が増えるほどに使用単価も増える逓増性や給水原価を下回る部分の取り扱いなどについて、平成29年3月に策定された日本水道協会の「料金改定業務の手引き」に基づき検討を進める必要がある。	今後、複数年のデータをもとに総括原価方式に基づいた水道料金水準や水道使用量が増えるほどに使用単価も増える逓増性や給水原価を下回る部分の取り扱いなどについて、平成29年3月に策定された日本水道協会の「料金改定業務の手引き」に基づき検討を進める必要がある。	今後、複数年のデータをもとに総括原価方式に基づいた水道料金水準や水道使用量が増えるほどに使用単価も増える逓増性や給水原価を下回る部分の取り扱いなどについて、平成29年3月に策定された日本水道協会の「料金改定業務の手引き」に基づき検討を進める必要がある。		
20-12-32	中期経営計画策定を契機として、PDCAサイクルを確立し、取り組みの検証や成果を明確化するしくみを構築し、実践します。	事業の成果を向上させる	効率的・効果的な事業推進	事業評価制度を実施する	客観的に評価出来るしくみが出来ていること	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	中期経営計画策定を契機として、PDCAサイクルを確立し、取り組みの検証や成果を明確化するしくみを構築し、実践している。	水道局職員に対する中期経営計画の説明会を実施しアセットマネジメントの必要性について理解が進んでおり、アクション・対策の評価結果に基づく修正については予定どおり進めている。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	中期経営計画策定を契機として、PDCAサイクルを確立し、取り組みの検証や成果を明確化するしくみを構築し、実践しており、平成28年度のチェック&アクトの結果はホームページで公表している。	水道局全体で中期経営計画のチェック&アクトを昨年到现在まで実施し、職員に、中長期的な安定経営の視点や水道事業の「安全・強靱・持続」に貢献する取り組み意識を養うとともに、各事務事業の進捗状況のふりかえり及び軌道修正を実施することができた。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	中期経営計画策定を契機として、PDCAサイクルを確立し、取り組みの検証や成果を明確化するしくみを構築し、実践しており、平成29年度のチェック&アクトの結果はホームページで公表している。	水道局全体で中期経営計画のチェック&アクトを昨年到现在まで実施し、職員に、中長期的な安定経営の視点や水道事業の「安全・強靱・持続」に貢献する取り組み意識を養うとともに、各事務事業の進捗状況のふりかえり及び軌道修正を実施することができた。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	中期経営計画策定を契機として、PDCAサイクルを確立し、取り組みの検証や成果を明確化するしくみを構築し、実践しており、令和元年度のチェック&アクトの結果はホームページで公表している。	水道局全体で中期経営計画のチェック&アクトを昨年到现在まで実施し、職員に、中長期的な安定経営の視点や水道事業の「安全・強靱・持続」に貢献する取り組み意識を養うとともに、各事務事業の進捗状況のふりかえり及び軌道修正を実施することができた。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	中期経営計画策定を契機として、PDCAサイクルを確立し、取り組みの検証や成果を明確化するしくみを構築し、実践しており、令和2年度のチェック&アクトの結果はホームページで公表している。	水道局全体で中期経営計画のチェック&アクトを昨年到现在まで実施し、職員に、中長期的な安定経営の視点や水道事業の「安全・強靱・持続」に貢献する取り組み意識を養うとともに、各事務事業の進捗状況のふりかえり及び軌道修正を実施することができた。	

八尾市水道事業中期経営計画の令和2年度チェック&アクト

分類 番号	説明	目標	取組 事項	対策	めざす姿 (令和2年度末に 実現したい姿)	平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和2年度		
						評価	実績・状況 【平成28年12月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況 【平成29年12月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況 【平成30年12月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況 【令和元年12月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況 【令和3年3月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)
						20- 12- 33	成果が見えること・向上 することを目指し、他事 業体の先進事例や企業 のノウハウなどを日常的 に収集し、研究検証でき るしくみを整えます。	事業の成 果を向上 させる	効率的・ 効果的 な事業 推進	新しい 手法や 技術を 研究す る	効率的・効果的な 事業推進ための手 法が増えていること	1.めざす姿 の実現に向けて、 計画どおり順 調に対策が実 施された	ファイリングシステムの 導入をはじめ、外付け ハードディスクでのデー タ管理により、資料や データの共有化を図る など各所属において新 しい手法や技術につい て情報収集と検討を行 っている。	各所属において新しい 手法や技術について情 報収集と検討を行い順 次取り入れた。	1.めざす姿 の実現に向けて、 計画どおり順 調に対策が実 施された	ファイリングシステムの 導入をはじめ、ファイ ルサーバーの導入により、 資料やデータの共有化 を図っている。平成29年 度はアセットマネジメント や収納業務について先 進都市の事例を研究し、 今後、報告を行う。	各所属において新しい 手法や技術について情 報収集と検討を行い順 次取り入れた。また、先 進事例の調査研究の ため、先進都市派遣研 修を実施し、派遣され た職員による報告会を 開催して研修成果を水 道局内で共有してい る。	1.めざす姿 の実現に向けて、 計画どおり順 調に対策が実 施された	ファイリングシステムの 導入をはじめ、ファイ ルサーバーの導入により、 資料やデータの共有化 を図っている。平成30年 度は横浜市のICTの活 用状況や管路の整備 についての事例を視察 するほか、契約事務や災 害時の給水活動につい て堺市を訪問し教示を 受けた。	各所属において新しい 手法や技術について情 報収集と検討を行い順 次取り入れた。また、 先進事例の調査研究 のため、先進都市派遣 研修を実施し、派遣さ れた職員による報告会 を開催して研修成果を 水道局内で共有してい る。
21- 13- 34	最終の目的は、「大阪広 域水道企業団(大阪市 を除く42市町村で構成 される。)による府域一水 道」です。また、企業団 との経営統合については、 現在、統合に向けて取 組まれている四條畷市 など3市町村の統合後 の状況も注視するととも に、他事業体との水平連 携なども含め、市民やお 客さまにとってメリット となるように研究を進め ます。今後、10年間は、単 独で水道事業を運営し ていきますが、企業団の 専門性や技術力などを 活用した共同の取組 みを積極的に進めると ともに、東部大阪9市 との連携にも積極的に取 組み、効率的・効果的 な経営を進めます。	実現可 能な範 囲から 発展 的な広 域化を 推進 する	広域化 への取 組み	大阪広 域水道 企業団 との効 率的な 連携を はかる	大阪広域水道企業 団及び近隣事業体 とのさまざまな広域 連携が進んでいる こと	1.めざす姿 の実現に向けて、 計画どおり順 調に対策が実 施された	大阪広域水道企業団 を加えた東部大阪9市 で、水道概論研修(「水 道経営と水道料金」) 、「水道システム概論」 、地方公 営企業会計研修、広 域連携に関する研修 を実施するほか広域 連携について情報収 集や研究を行った。	大阪広域水道企業団 と他の事業体と連携 して研修を実施する こと、講義内容の充 実を図ることができ た。	1.めざす姿 の実現に向けて、 計画どおり順 調に対策が実 施された	大阪広域水道企業団 を加えた東部大阪9市 で、水道概論研修(「水 道経営と水道料金」) 、「水道システム概論」 、地方公 営企業会計研修、広 域連携について情報 収集や研究を行った。 また、八尾市長の提 案により新たに設 置に向けて動いてい る大阪広域水道企 業団と各水道事業体 との事業の統合につ いて研究会や大阪府 が主催する広域化に 関する意見交換会に 参加する予定であ る。	大阪広域水道企業団 と他の事業体と連携 して研修や研究会を 行うこと、将来の府 域一水道の方向性 について検討を進め ていく機運が高ま った。	1.めざす姿 の実現に向けて、 計画どおり順 調に対策が実 施された	大阪広域水道企業団 を加えた東部大阪9市 で、水道概論研修(「水 道経営と水道料金」) 、「水道システム概論」 、地方公 営企業会計研修、広 域連携について情報 収集や研究を行った。 また、大阪広域水道 企業団と各水道事業 体との事業の統合に ついての研究会や大 阪府が主催する広域 化に関する意見交換 会の開催を推進し た。また、大阪府が 主催する広域化に関 する意見交換会に参 加する予定である。	大阪広域水道企業団 と他の事業体と連携 して研修や研究会を 行うこと、将来の府 域一水道の方向性 について検討を進め ている。	1.めざす姿 の実現に向けて、 計画どおり順 調に対策が実 施された	大阪広域水道企業団 を加えた東部大阪9市 で、水道概論研修(「水 道経営と水道料金」) 、「水道システム概論」 、地方公 営企業会計研修、広 域連携について情報 収集や研究を行った。 特に令和元年度は水 道法の改正を受け指 定工事事業者の更新 制について手数料額 や条例改正の時期等 について、意見交換 の会議を開催した。 また、大阪府が主 催する広域化に関す る意見交換会を発 展改組した府域一水 道に向けた水道の あり方協議会にお いて広域化に向けた 検討協議を行っている。 隣接する東大阪市、 柏原市とは、施設 の共同利用について 具体的な検討を行 っている。	大阪府が主催し、大 阪市も参画する「府 域一水道に向けた水 道のあり方協議会」 において、具体的 に検討を進めると ともに、東部大阪 ブロック内で活 発な情報交換を行 った。	1.めざす姿 の実現に向けて、 計画どおり順 調に対策が実 施された	大阪広域水道企業団 と他の事業体と連携 して将来の府域一水 道の方性について 検討を進めるととも に、企業団による 統合に向けた施設 の最適配置、経営 シミュレーション に参加した。	コロナ禍により、各 検討、協議に一部 支障があった。
21- 13- 35	大阪広域水道企業団の 技術力を活用して、本市 の事業実施に役立てる ため、技術交流や人材 交流を検討します。	実現可 能な範 囲から 発展 的な広 域化を 推進 する	広域化 への取 組み	大阪広 域水道 企業団 の情報 収集・交 流を行 う	大阪広域水道企業 団との技術交流や 人材交流が実現し ていること	2.めざす姿 の実現に向けて、 計画どおり 対策が実施さ れなかった部 分がある	大阪広域水道企業団 の技術支援は、統 合あるいは統 合予定の市町 村が優先され る仕組みに変 更され、企業 団人材バンク の運用も停止 されることな ったが、引き 続き、情報収 集し、可能性 について検討 する。	大阪広域水道企業 団の市町村水 道事業の個別 業務における 方向性の見直 しが行われ、 技術支援を受 けることがで きなかった。ま た、OB職員等 の雇用に関 する企業団人 材バンクは利 用が低調であ ったため運用 を停止するこ ととなった。人 事交流につ いては引き続き 検討を行う。	1.めざす姿 の実現に向けて、 計画どおり順 調に対策が実 施された	大阪広域水道企業 団の市町村水 道事業の個別 業務における 方向性の見直 しが行われ、 技術支援を受 けることがで きなかった。ま た、OB職員等 の雇用に関 する企業団人 材バンクは利 用が低調であ ったため運用 を停止するこ ととなった。人 事交流につ いては引き続き 検討を行う。	2.めざす姿 の実現に向けて、 計画どおり 対策が実施さ れなかった部 分がある	大阪広域水道企業 団の市町村水 道事業の個別 業務における 方向性の見直 しが行われ、 技術支援を受 けることがで きなかった。ま た、大阪広域水 道企業団の技 術部会では、 指定工事事業 者の更新制に かかる手数料 額や条例改正 の時期等を議 題として会議 を開催した。	大阪広域水道企業 団との人事交流 については、実 績のある他事 業体の状況を 把握し、検討 の結果見送 ったが、技術 部会では例 年以上に活 発な議論を行 った。	2.めざす姿 の実現に向けて、 計画どおり 対策が実施さ れなかった部 分がある	大阪広域水道企業 団の技術支援は、 統合あるいは 統合予定の市 町村が優先さ れる仕組みに 変更され、企 業団人材バン クの運用も停 止されている ことから人事 交流は実現し ていないが、 統合の検討 のために、事 業費計上の考 え方等につ いての協議を 行った。引き 続き、大口 径管の更新 技術等、専 門職の交流 について、 他市の動向 を見ながら 検討する。	今後の統合協議 を踏まえ、検討 を進める。				
22- 14- 36	今後、ますます経営状 況が厳しくなり、市民 やお客さまのニーズが 多様化していく状況 において、様々な課題 に対応するために、外 部専門家の活用によ る専門知識の向上、計 画的な人材の育成に 取組みます。	業務に 応じて 適切に 人材を 確保す る	人材育 成と組 織強化	専門性 のある 人材育 成の手 法を確 立する	専門家の活用や委 託事業者との連携 した研修の機会が 増えていること	1.めざす姿 の実現に向けて、 計画どおり順 調に対策が実 施された	メンタルヘルスセ ミナーや障害者差 別解消法の人権 研修については、 専門家をまね いで研修を実施 した。救急救命 蘇生法研修や人 権研修は委託事 業者と連携し 実施(前年度比 1件増加)する とともに各所 属においても 職場内研修な どに取り組ん だ。	八尾市水道局職員 研修要綱に基づ き計画的に研 修を行うこと ができた。	1.めざす姿 の実現に向けて、 計画どおり順 調に対策が実 施された	人権研修については、 専門家を招い ての研修を 実施した。(財 務基礎研修につ いても、専門 家を招いて平 成30年2月に 実施予定)救急 救命蘇生法研 修や人権研修 は委託事業者 と連携し実施 するとともに 各所属にお いても職場内 研修などに 取り組んだ。	八尾市水道局職員 研修要綱に基づ き計画的に研 修を行うこと ができた。	1.めざす姿 の実現に向けて、 計画どおり順 調に対策が実 施された	委託業者も参加 した人権研修 や下水道部局 の職員も参加 した財務基礎 研修について、 専門家を招 いて研修を 実施すると ともに、酸 素欠乏主任者 の研修等を 計画的に 実施し、各 所属にお いても職 場内研修 などに 取り組ん だ。な お、本 年度は 新たに 給水車 の運転・ 取扱い 等につ いての 研修も 実施 した。	他部局とも連携 しながら八尾 市水道局職員 研修要綱に 基づき計 画的に研 修を実施 することが できた。	1.めざす姿 の実現に向けて、 計画どおり順 調に対策が実 施された	昨年度と同様、 下水道部局 の職員も参 加した財務 基礎研修に ついて、専 門の講師を 招いて研修 を実施する とともに、 酸素欠乏主 任者の研修 等を計画的 に実施し、 各所属にお いても職 場内研修 などに取 組んだ。ま た、本年 度はオート マチック車 の給水車を 新たに導入 したため、 給水車の 運転・取 扱い等につ いての研 修も実施 した。	他部局とも連携 しながら八尾 市水道局職員 研修要綱に 基づき計 画的に研 修を実施 することが できた。	1.めざす姿 の実現に向けて、 計画どおり順 調に対策が実 施された	例年同様、専 門の講師を 招いた財務 基礎研修を 実施すると ともに、酸 素欠乏主任 者の研修等 を計画的に 実施し、各 所属にお いても職 場内研修 などに取 組んだ。	他部局とも連携 しながら八尾 市水道局職員 研修要綱に 基づき計 画的に研 修を実施 することが できた。

八尾市水道事業中期経営計画の令和2年度チェック&アクト

分類番号	説明	目標	取組事項	対策	めざす姿 (令和2年度末に実現したい姿)	平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和2年度		
						評価	実績・状況 【平成28年12月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況 【平成29年12月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況 【平成30年12月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況 【令和元年12月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況 【令和3年3月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)
						22-14-37	水道事業における工事等の技術は、市民やお客さまの安全で美味しい水を届けるために不可欠なものです。しかしながら、水需要の減少に伴う事業規模の縮小や効率化による職員減少や経験のある職員の退職などで、技術力の低下が課題となっています。職員の技術力、知識の向上、組織力強化のため、今後は、経験の少ない職員でも、技術や知識の取得ができる創意工夫が必要となります。	業務にに応じて適切に人材を確保する	人材育成と組織強化	職員の技術力、組織力を強化する	複数の所属を経験することなどにより、技術や知識が向上していること	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	平成28年度の定期人事異動41人。平成27年度は12人(4月及び7月の異動合計)前年度比342%(人事交流も含む。新規採用者は除く。)と大幅に増加し、適正配置に努めた。また、各所属においても独自の研修会や新たな技術の見学会など技術力、組織力の強化に取り組んだ。	事務職員を中心に市長部局等との人事交流を行うほか局内においても所属間の異動を積極的に行った。	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施されなかった部分がある	平成29年度の定期人事異動4人。(人事交流も含む。)前年度、大規模な人事異動(41人)であったこともあり、小規模な人事異動であったが、適正配置に努めた。また、各所属においても技術の研修会や見学会など技術力、組織力の向上に努めた。	事務職員を中心に市長部局等との人事交流を行うほか局内においても所属間の異動を行った。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	平成30年度の定期人事異動で前年度と異なる所属への異動は14人(人事交流も含む。)で、前年度より規模の大きい人事異動であった。また、各所属においても技術力向上のための研修会や見学会など技術力、組織力の向上に努めた。	機構改革を行うとともに、技術職員を中心に市長部局からの人事交流を積極的に受け入れた。また、局内においても所属間の異動を行った。
23-15-38	新庁舎に導入する太陽光発電やLED照明設置の効果測定し、市民やお客さまに効果を公表することで、市民やお客さまが新たに再生可能エネルギーを導入する啓発を実施します。さらに、太陽光発電に比べて24時間発電可能で効率的な小水力発電についても、積極的に導入に向けて進めていきます。	環境負荷の軽減をはかる	環境への配慮	省エネルギー対策を推進する	再生可能エネルギー(太陽光発電、小水力発電等)の活用による効果や省エネ機器の導入が進んでいること	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	受水エネルギーの有効活用(省エネ)について大阪広域水道企業団及び関係各所と協議を重ね、検討を進めた。	再生可能エネルギーの導入については、検討を進めているところである。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	メーカー等の協力を得ながら、小水力発電設備の設置箇所及び導入効果の検討を実施した。	先進事例等を参考にしながら、今後も検討を進めていく。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	高安受水場送水ポンプ棟更新工事において、高効率ポンプの導入を行った。	今後も、施設を更新する際には、積極的に省エネ機器の導入を進めていく。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	高安受水場送水ポンプ棟更新工事に合わせて、太陽光発電によるLED照明灯を設置した。	今後も、施設を更新する際には、積極的に省エネ機器の導入を進めていく。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	未利用エネルギーの有効活用のために、小水力発電事業の公募型プロポーザルを実施した。	今後も、施設を更新する際には、積極的に省エネ機器の導入を進めていく。また、小水力発電設備設置に向けての検討は継続して進めていく。
24-16-39	これからの情報発信は、成果が得られる内容とするために、①各家庭における水の備蓄の実践及び地域での水の確保、②中期経営計画(経営状況等)の発信に優先して取り組むこととします。	お客さまに伝える内容を精査して優先順位の高いものから発信している	戦略的広報の実施	広報内容に優先順位を付す	家庭での水の備蓄や水道事業の経営状況について理解を得るため積極的に広報を行っていること	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	毎年度、検針の際に配布している「やおの水道」の内容を見直し、水道事業の現状と課題、中期経営計画の策定について掲載したほか、工事のお知らせの裏面にも水道局からのお知らせを掲載するなど情報発信の充実が努めた。	中期経営計画の策定を契機に情報発信の充実が努められた。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	検針の際に配布している「やおの水道」の内容を見直し、水道局の災害への取り組みの紹介と各家庭での飲料用水の備蓄の呼びかけを行うとともに、水道事業の経営状況についての理解を深めるため、収益的収支や水道施設の健全度、企業債残高等の経営状況についても掲載した。また、水道局工事のお知らせの裏面にも漏水を発見した際の協力依頼を掲載するなど情報発信の充実が努めた。	各家庭における水の備蓄の実践及び地域での水の確保や経営計画(経営状況等)の発信など、優先順位の高いものを中心に情報発信の充実が努められた。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	検針の際に配布している「やおの水道」の内容を見直し、水道局の防災機能の向上や水道管の更新工事の実施、資本的収支も含めた経営状況や漏水を発見した際の協力依頼について掲載するなど、情報発信の充実が努めた。	水道局が行う災害に備えた事業と経営状況等の発信など、優先順位の高いものを中心に情報発信の充実が努められた。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	検針の際に配布している「やおの水道」に水道法の改正内容を掲載し、水道料金収入の減少や水道管などの更新費用の増加等について掲載した。また、水道モニター懇談会では、第1回において収益的収支及び資本的収支等の経営状況を説明するとともに水の備蓄についてグループワークを実施した。	本年度は水道モニター会議の内容をグループワークを中心に進めるよう改めるなど広報・広聴の実施方法を見直した。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	広報紙「やおの水道」において、水道料金減免や水道施設の耐震化、給水車の追加配備等について広報した。	本年度は水道モニターをはじめ、コロナの影響により一部実施を見送った。
24-16-40	日々のお客さまとの対応が大切な広報機会であると捉え、職員の説明の技量を向上させる一方、広報イベント等においては、市民やお客さまに協力をいただくなど、新たな手法を検討・実践します。	お客さまに伝える情報を精査して優先順位の高いものから発信している	戦略的広報の実施	効果的な広報活動を実施する	広報活動に協力いただける市民やお客さまの数が増えていること	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	中期経営計画の資料等を基に広報内容を見直すとともに、水道モニター制度を活用したアンケートや意見交換を充実させたことにより広報への掲載内容の見直しを含め、効果的な広聴広報活動を行った。また、平成28年度は東部大阪水道協議会において、「効果的な広報誌等の作り方について」の研修を実施し、効果的に伝えるポイントやテクニックを学んだ。	広報広聴内容の充実により、地域や企業において、出前講座の開催の申し出が増加した。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	中期経営計画の資料等を基に広報内容を見直すとともに、水道モニター制度を活用したアンケートや意見交換を充実させたことにより広報への掲載内容の見直しを含め、効果的な広報の実施に努めた。また、平成28年度に東部大阪水道協議会において実施した、「効果的な広報誌等の作り方について」の研修を踏まえ、効果的に伝えるポイントやテクニックを広報活動に生かした。	広報広聴内容の充実が努めるとともに、ホームページにおいて地域や企業への出前講座の実施について周知を図っている。	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施されなかった部分がある	水道モニター制度を活用したアンケートや意見交換を参考に局内の広報公聴委員を活用して掲載内容の見直しを含め、効果的な広報の実施に努めた。	平成30年度は消費者教室基礎講座、山本コミュニティセンターのわくわくフェアを実施した。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	学校への出前講座については、平成29年度にイベントなどの運営を手掛ける事業者が監修したシナリオをもとに実施した。また、志紀地区福祉委員会の依頼で出前講座を実施するとともに、1月に食生活改善委員に対し出前講座を実施予定である。	学校における出前講座については、見直し後のシナリオで実施するとともに、本年度は新たに学校以外の場においても出前講座を実施することができた。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	水道局広聴広報委員会において、水道局内電子掲示板や広報誌の活用方法等、広報の内容や手法について検討を行った。コロナの影響によりモニター懇談会を実施できなかったが、出前講座の実施方法を含め、より効果的な手法を検討した。	コロナ禍において、今後も含め広報広聴のあり方、その手法について考える機会となった。

八尾市水道事業中期経営計画の令和2年度チェック&アクト

分類 番号	説明	目標	取組 事項	対策	めざす姿 (令和2年度末に 実現したい姿)	平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和2年度		
						評価	実績・状況 【平成28年12月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況 【平成29年12月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況 【平成30年12月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況 【令和元年12月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況 【令和3年3月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)
25-16-41	水道事業会計のしくみや状況を家庭の財布などに例えて、また、他のサービス業との比較を通して、市民やお客さまにわかりやすく伝えるとともに、水道料金の使い道や水道事業の経営状況、将来見込などの理解を深められるように努めます。	水道事業経営に関する重要事項(施設・管路更新の必要性や料金体系の現状・水道料金の使途・将来見通し等)について、お客さまに向けて十分に説明している	戦略的広報の実施	水道事業経営に関する重要事項について、お客さまの理解度を深めるための情報提供を行う	水道事業の成り立ちや経営状況を知り、料金の納入の重要性を市民・お客さまに理解していただくための取り組みが行われていること	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	各事業体の広報活動の調査や視察を行い、本年度、啓発展示コーナーに新たな広報物を作成するなど戦略的広報の実施に取り組んだ。	各事業体から送付されてくる広報物を中心とするような広報をしていくかを調査するほか他の事業体の展示物を見学することにより広報活動の充実に努めた。	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおりに対策が実施されなかった部分がある	各事業体の広報活動の調査や視察を行い、本年度、啓発展示コーナーに新たな広報物を作成するなど戦略的広報の実施に取り組んだ。	各事業体から送付されてくる広報物を中心とするような広報をしていくかを調査するなど他の事業体の広報を参考に広報活動の充実に努めた。また、水道局内の広報広聴委員会でも広くアイデアを求めるとともに水道局庁舎1階のディスプレイ映像の更新を行っている。今後、先行事例の事業体へのヒアリングを行う。	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおりに対策が実施されなかった部分がある	インターネットを活用した水道モニター制度を実施している都市を参考に同様の制度の導入を検討したが技術的な課題が判明し、引き続き検討を行うこととなった。また、水道局内の広報広聴委員会で広くアイデアを求めるとともに水道局庁舎1階のディスプレイ映像の更新を行っている。また、「やおの水道」に水道局の防災機能の向上や水道管の更新工事の実施、資金的収支も含めた経営状況について本年度掲載した。	水道事業の経営状況についての広報の充実を図ることができたが、水道モニター制度の活性化を引き続き検討する必要がある。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	水道モニターに対して八尾市の水道事業を紹介する際に、公営企業会計のしくみや収益的収支、資本的収支、財政状況などを説明し、理解を求めた。また、八尾市水道事業経営審議会の資料をホームページに掲載することで、従来よりもホームページの充実を図ることができた。	ホームページに従来の水道事業のしくみ、「経営比較分析表の公表について」に加え、新たに八尾市水道事業経営審議会の資料を掲載すること、従来よりもホームページの充実を図ることができた。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	ホームページに従来の水道事業のしくみ、「経営比較分析表の公表について」に加え、八尾市水道事業経営審議会の資料を掲載した。	ビジョン、経営戦略策定にかかる水道事業経営審議会の最終年度として、各会議資料を掲載した。
26-16-42	災害時を想定して水道事業が実施している各種の取り組み(応急給水拠点、耐震性緊急貯水槽など)に加えて、本市の防災所管部署と協力し、本市の防災備蓄品(備蓄水・バルーン水槽など)も含め市民やお客さまが、確実に利用できるように、様々な機会を通じて場所や利用の仕方などを総合的に情報発信していきます。	災害時の対応・対策(応急給水拠点や給水方法等)について、お客さまの理解度を向上させる	戦略的広報の実施	災害時にお客さま自身が行う行動すべしよいか理解してもらえよう情報提供を行う	市民やお客さまが災害時の最寄り給水手段について知識が向上するよう取り組みが行われていること	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	平成28年4月に発生した熊本地震の被災者に聞き取りを行い、出前講座、地域イベントを通じて、お客さまご自身を守るための方法等の説明を行った。	実際に災害の被害にあわれた方の体験談や大阪広域水道企業団との合同訓練の経験を広報活動に活かした。	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおりに対策が実施されなかった部分がある	平成28年4月に発生した熊本地震の被災者に聞き取りを行い、出前講座、地域イベントを通じて、お客さまご自身を守るための方法等の説明を行った。	実際に災害の被害にあわれた方の体験談や地域の自主防災活動の取り組み等を広報活動に生かした。今後、先行事例の事業体へのヒアリングを行う。	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおりに対策が実施されなかった部分がある	出前講座、地域イベントを通じて、お客さまご自身を守るための方法等の説明を行った。	平成30年度の被災地への職員派遣の経験を十分に生かした広報活動には至らなかった。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	水道モニターについては、先進都市の事例を参考にグループワークを取り入れたことで議論が活性化し、水の備蓄や水道料金の収納方法に対する意見が寄せられた。また、地域の防災訓練では利き水に替えて水の備蓄のアンケートを実施するように内容を改め、水の備蓄について啓発を行った。	先進都市の事例を参考にすることで広報広聴の充実を図ることができた。	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施されなかった部分がある	コロナのため、地域の防災行事や水道モニター懇親会等は実施できなかったが、広報紙、ホームページ等を通じて啓発を行った。	コロナ禍において、今後も含め広報広聴の充実を図る機会となった。
26-16-43	出前講座の内容を、災害時に備え平時から家庭において水の備蓄がなされるよう、家庭備蓄の優位性を明らかにし、子どもたちから積極的に取り組めるようなものに組み換えて実施します。	災害時の対応・対策(応急給水拠点や給水方法等)について、お客さまの理解度を向上させる	戦略的広報の実施	既存の啓発活動を活用する	子ども出前講座により水の備蓄の必要性を参加者に伝え、備蓄の意識が向上していること	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	現在行っている提案型公共サービスの受託者により、子ども出前講座の災害への備えに関する内容を充実させるよう、資料の見直しと精査を依頼している。	提案型公共サービスの受託者と委託業務の内容について協議を重ね出前講座の見直しの方向性についての水道局の要望を伝えた。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	子ども出前講座の災害への備えに関する内容を充実させるため、提案型公共サービスの受託者に依頼し、構成やシナリオの見直しを行い、反映した内容で出前講座を実施した。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	学校へ出前講座については、昨年度にノウハウを持った受託業者によもて見直したシナリオをもとに実施することで広報内容の充実を図ることができた。	学校へ出前講座については、昨年度見直したシナリオをもとに実施することで広報内容の充実を図ることができた。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	学校へ出前講座については、イベントなどの運営を手掛ける事業者が平成29年度に監修したシナリオをもとに実施するとともに、備蓄の必要性を説明した。また、志紀地区福祉委員会の依頼で夏休みの子ども向け出前講座を実施することで、より幅広い年齢層への周知を図ることができた。	本年度、学校以外の場面で新たに子ども出前講座を実施するとともに、地域の防災訓練で水の備蓄に対するアンケートや給水袋を背負う体験などを通して水の備蓄の重要性についての啓発活動を行った。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	災害時の対応・対策を組み込んだ内容で、市内小学4年生を対象とした水道出前講座を実施した。	コロナ禍において、今後も含め広報広聴の充実を図る機会となった。	
27-16-44	日常業務の中においてお客さまニーズの把握・蓄積・情報共有のしくみをつくることや、水道事業に関する先進技術・事例を迅速・的確に収集し、具体化のための検討が出来る制度を構築します。	水道サービスの向上に向けた情報収集・提供に取り組んでいる	戦略的広報の実施	効果的な情報収集・提供の方法を検討・採用する	広報戦略が確立され、実施されていること	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	災害が度重なることからお客さまご自身を守るための方法等を優先的に広報すべき内容や位置づけ、地域におけるイベントや出前講座を通じて説明を行った。また、水道モニター制度を活用し、アンケート項目の見直しや意見交換によりお客さま目線の情報収集を行った。	水道モニターのご協力によりお客さま目線の情報収集を効率的に行うことができた。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	災害が度重なることからお客さまご自身を守るための方法等を優先的に広報すべき内容や位置づけ、地域におけるイベントや出前講座を通じて説明を行った。また、水道モニター制度を活用し、アンケート項目の見直しや意見交換によりお客さま目線の情報収集を行った。	平成28年度の水道モニター第2回アンケートで「積極的に広報したほうがよいと思われるもの」についての項目を設けるとともに、平成29年度も水道モニターの見直しや意見交換等でお客さま目線の情報収集を効率的に行うことができた。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	災害が度重なることからお客さまご自身を守るための方法等を優先的に広報すべき内容や位置づけ、地域におけるイベントや出前講座を通じて説明を行った。また、水道モニター制度を活用し、アンケート項目の見直しや意見交換によりお客さま目線の情報収集を行った。	前年度に引き続き水道モニターアンケートで「積極的に広報したほうがよいと思われるもの」についての項目を設けるとともに、平成30年度も水道モニターの見直しや意見交換等でお客さま目線の情報収集を効率的に行うことができた。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	水道ビジョン等の策定に際し、水道使用者へのアンケートを実施し、広報の現状についての意見や今後知りたい情報内容に関する質問項目もアンケートに組み入れた。また、水道モニターアンケートでは「積極的に広報したほうがよいと思われるもの」について意見を徴し、次年度の広報に活用している。	水道使用者や水道モニターに対し、広報の現状評価とお客さまが知りたい情報についてアンケート調査を行った。	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	水道モニター制度を活用したアンケートを実施し、情報収集を行った。	コロナ禍において、今後も含め広報広聴の充実を図る機会となった。

八尾市水道事業中期経営計画の令和2年度チェック&アクト

分類 番号	説明	目標	取組 事項	対策	めざす姿 (令和2年度末に 実現したい姿)	平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和2年度		
						評価	実績・状況 【平成28年12月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況 【平成29年12月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況 【平成30年12月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況 【令和元年12月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)	評価	実績・状況 【令和3年3月末現在】	ふりかえり講評 (原因分析)
						28-17-45	水道が重要な社会生活の基盤であるとの認識に基づき、地域のイベントや防災訓練への水道局への参加協力要請がなされることは、水の備蓄や水の確保を呼びかける啓発の貴重な機会です。	災害時における住民との連携体制を構築している	地域との連携強化	地域のイベントや防災訓練を災害時対応や戦略的広報に活用する	イベントや防災訓練に、地域の要請による啓発活動回数が増加していること	1.めざす姿の実現に向けて、計画どおり順調に対策が実施された	大正南地区で全町会を対象に、災害時に耐震性緊急貯水槽を使用するための訓練を行うなど、各地域の防災訓練等に積極的に参加し、備蓄水の必要性や耐震性緊急貯水槽の使用方法などについて説明を行った。  平成27年度実績11回、平成28年度実績12回(予定)	まちづくり協議会をはじめとした地域の協力や水道局内の協力体制によりほぼ要望どおりに参加することができた。	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおりに対策が実施されなかった部分がある	本年度、新たに高安地区で北部低区配水池の説明会を開催するなど、災害時に耐震性緊急貯水槽を使用するための訓練だけではなく、各地域の防災訓練等に積極的に参加し、備蓄水の必要性や耐震性緊急貯水槽の使用方法などについて説明を行った。  平成27年度実績11回、平成28年度実績12回、平成29年度12月末現在7回	地域における啓発活動は、台風による訓練中止がある一方、昨年度までに耐震性緊急貯水槽を活用した訓練を行った地域における実施回数は減少した。地域活動については、まちづくり協議会をはじめとした地域の協力や水道局内の協力体制によりほぼ要望どおりに参加することができた。また、コミュニティスタッフとの意見交換を行っている。	2.めざす姿の実現に向けて、計画どおりに対策が実施されなかった部分がある	本年度、新たに大正北地区の防災活動に参加するなど、災害時に耐震性緊急貯水槽を使用するための訓練だけではなく、各地域の防災訓練等に積極的に参加し、備蓄水の必要性や耐震性緊急貯水槽の使用方法などについて説明を行った。  平成27年度実績11回、平成28年度実績12回、平成29年度実績10回、平成30年12月末現在5回	河内首頭まつりなど地域における啓発活動は訓練中止があった。また、昨年度までに耐震性緊急貯水槽を活用した訓練を行った地域における実施回数は引き続き減少傾向にある。地域活動については、まちづくり協議会をはじめとした地域の協力や水道局内の協力体制によりほぼ要望どおりに参加することができた。また、コミュニティスタッフとの意見交換を行っている。